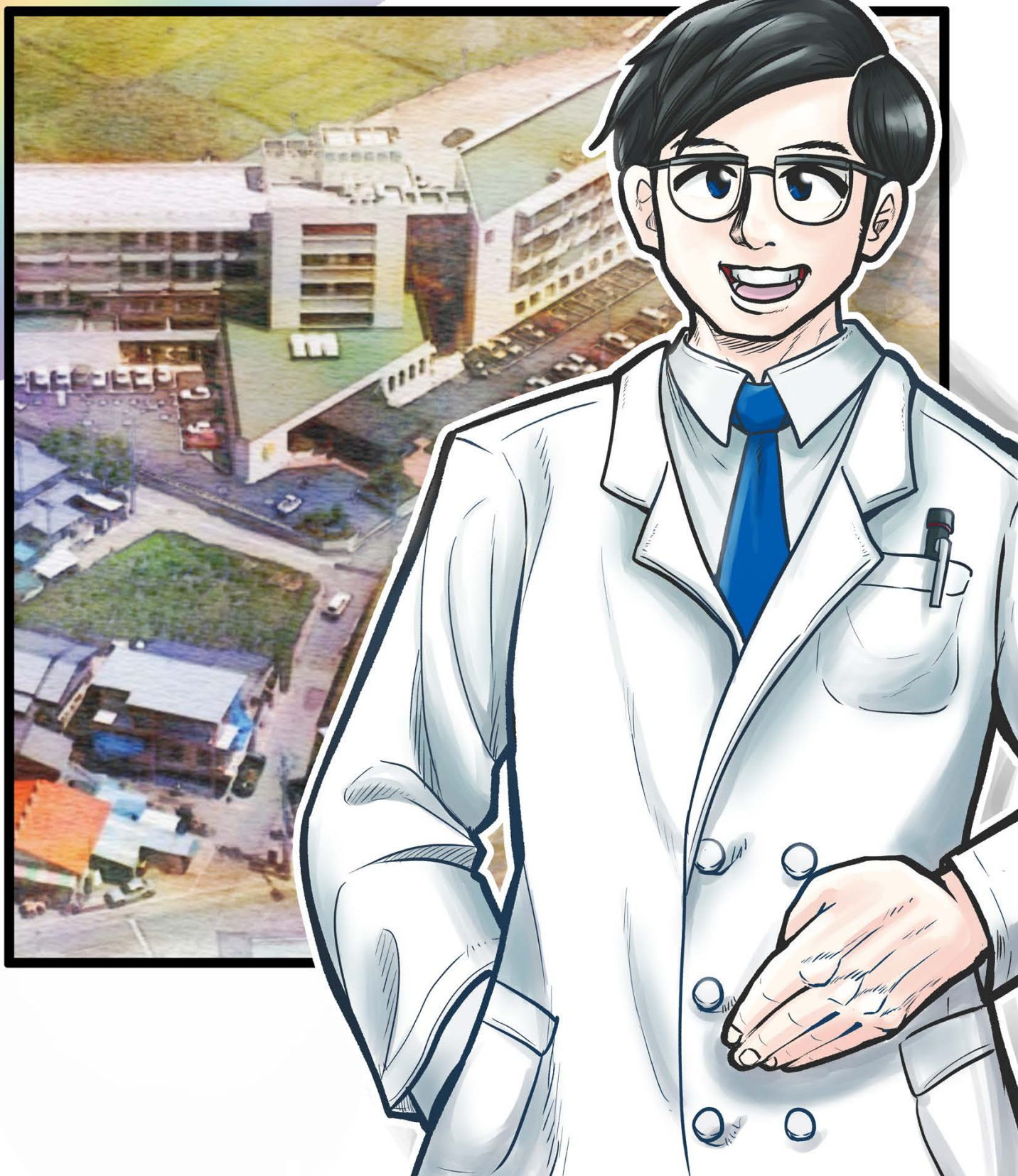


KUMAMOTO
KINOH
HOSPITAL

熊本機能病院物語

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL STORY

～米満弘之が描いた夢～

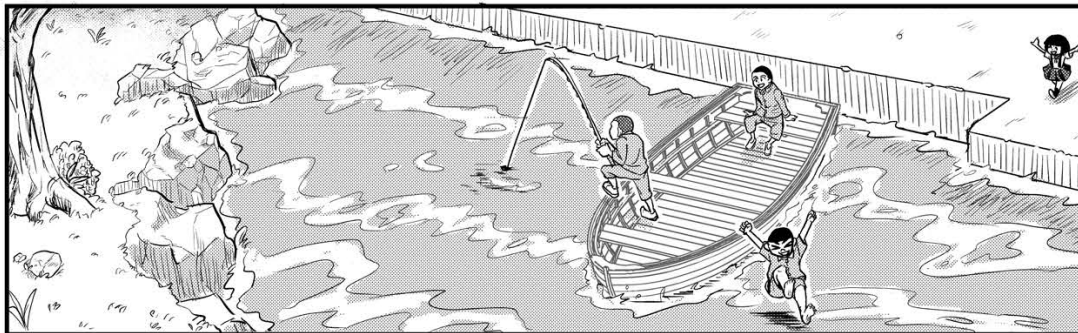
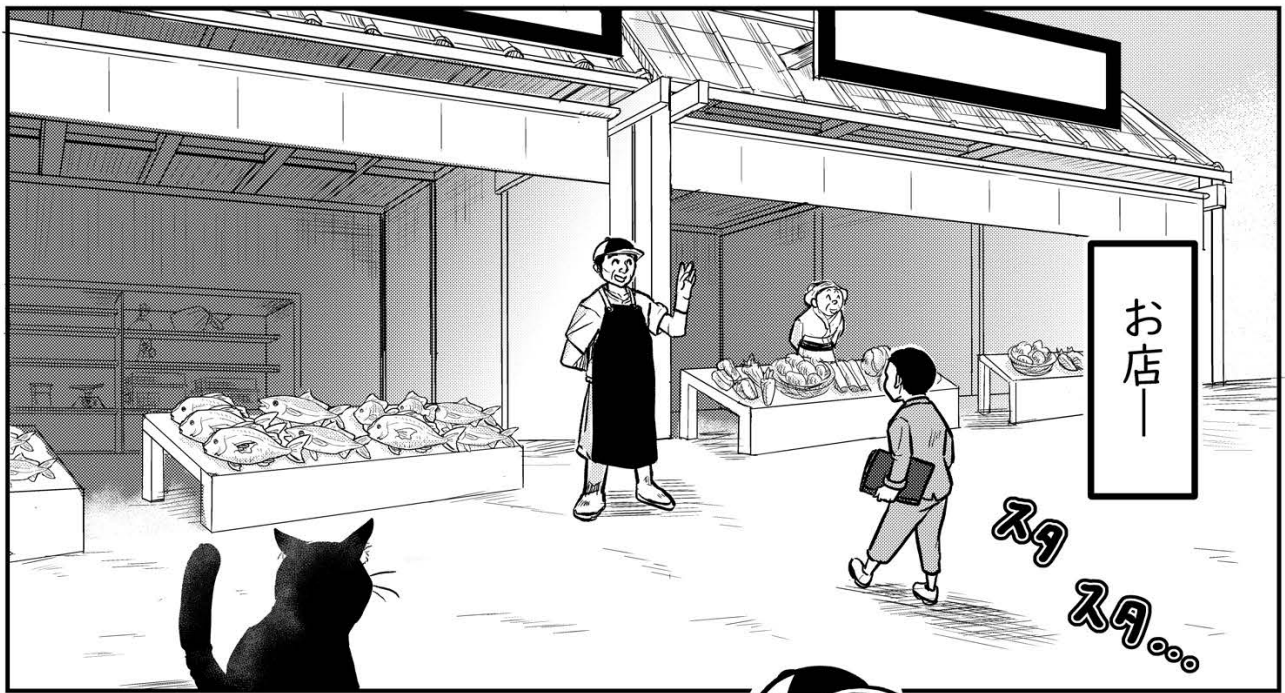


第一章

将来の夢







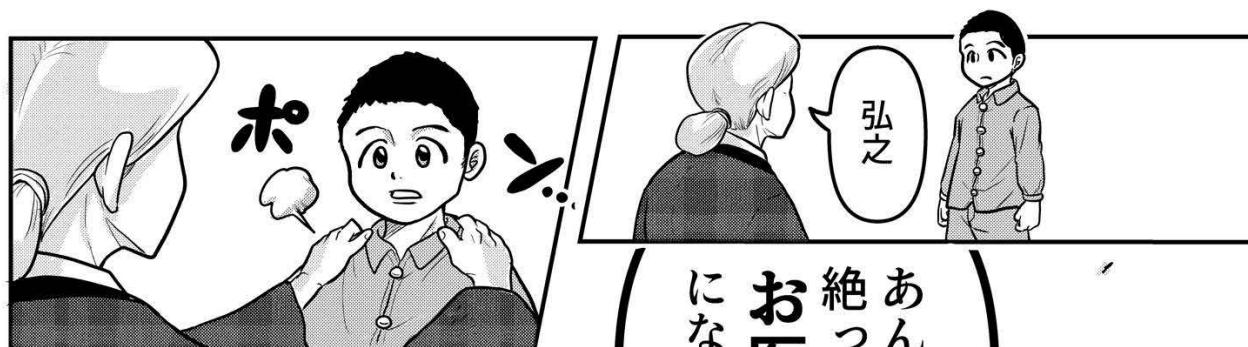
幼少期の弘之は
まだ医療に対して
興味がなく：

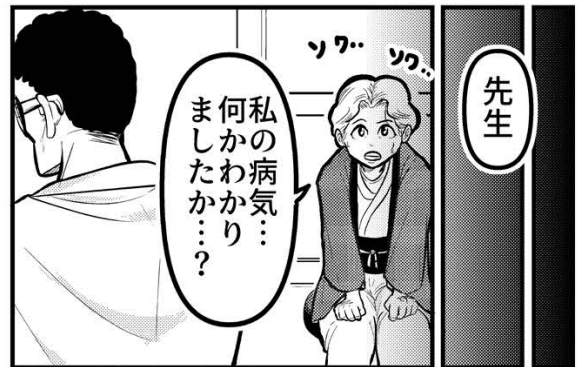


海・川で遊んだり…
漁港で魚を購入したり…
縁側で百科事典を
読んだり…勉強と自然が
大好きな男の子でした。













小学生の男の子なら
誰しも傷ついて
しまうような
出来事ですが：

自分の夢を
「珍しい」と言われ、
かなり驚いた弘之。

「夢を叶えて皆を
アツと言わせてやる！」と
弘之の反骨精神に
火が点いたきっかけに
なったのでした。

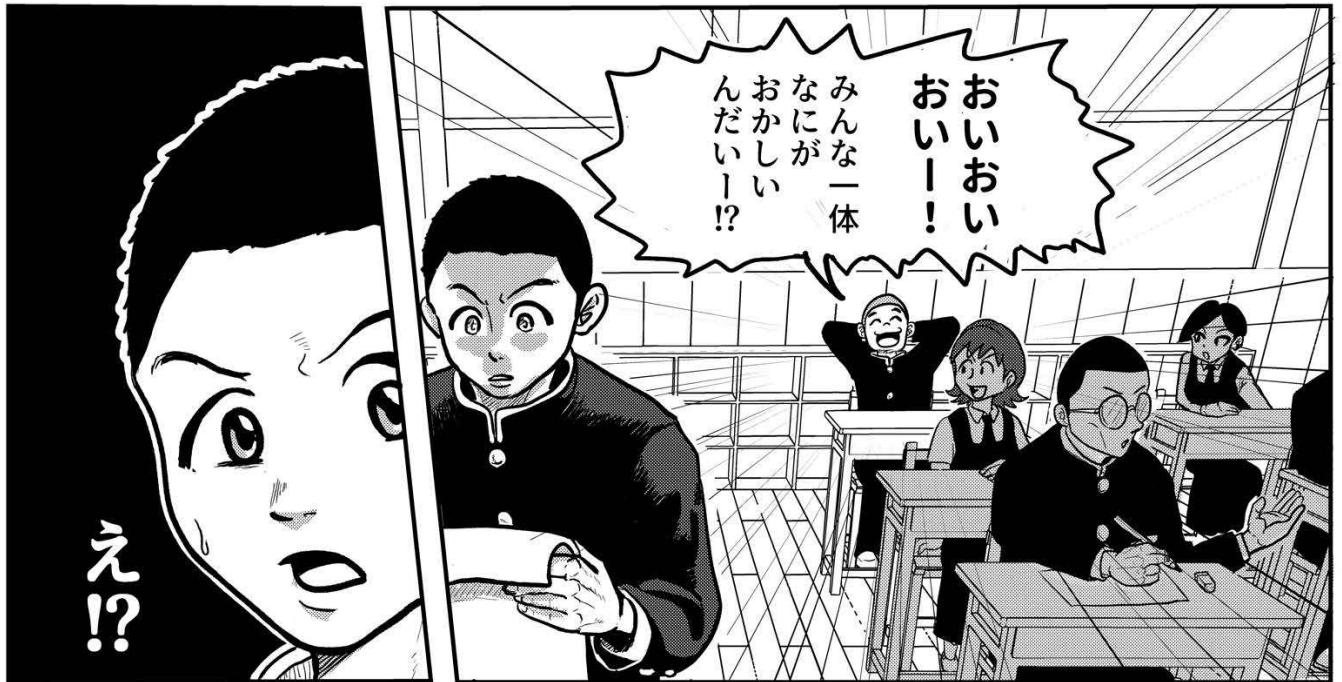
ここで弘之の心は
折れることはなく
逆に





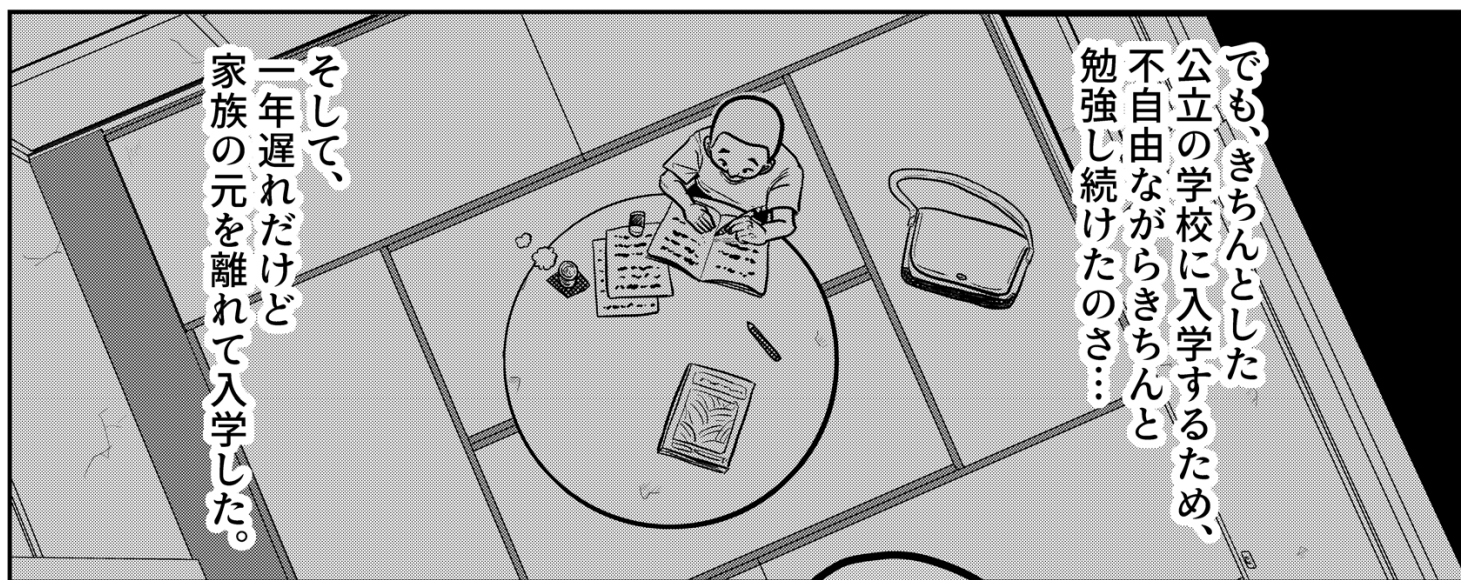
※当時は戦時中であつたため、「軍人さん」などが人気の職業でした。



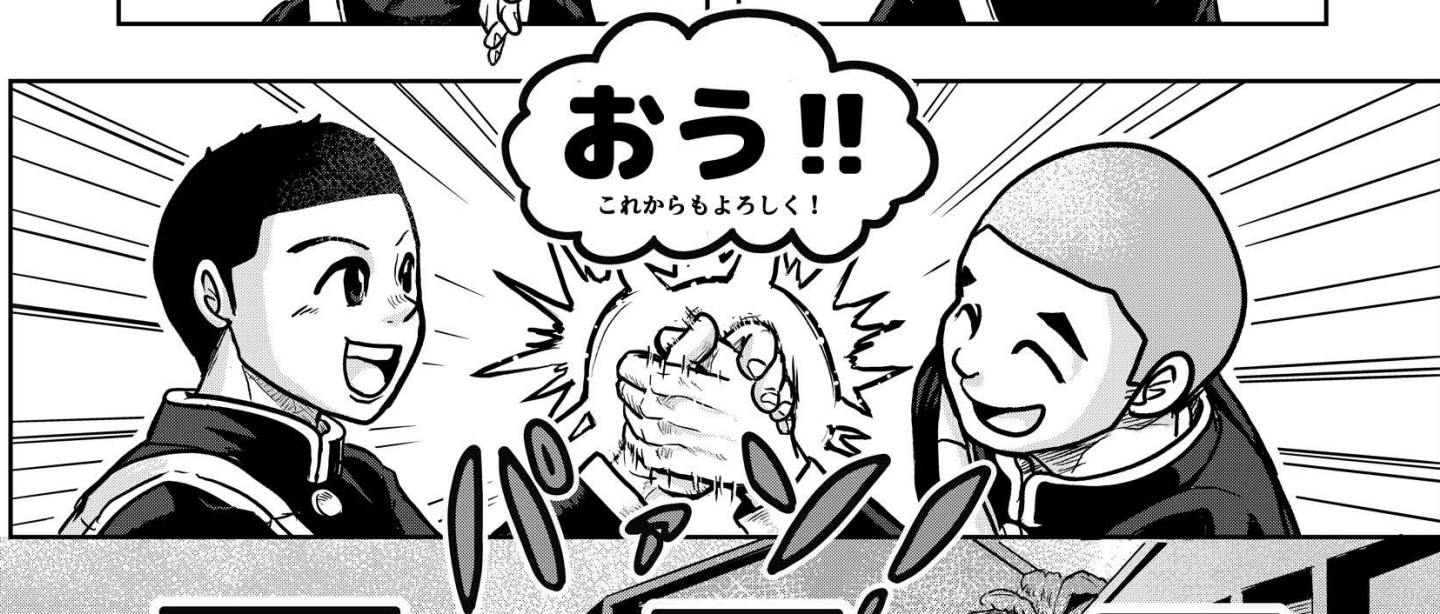
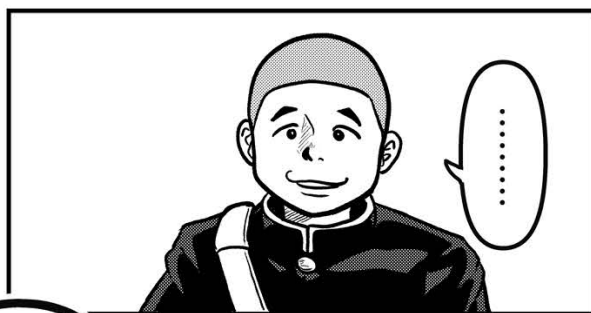
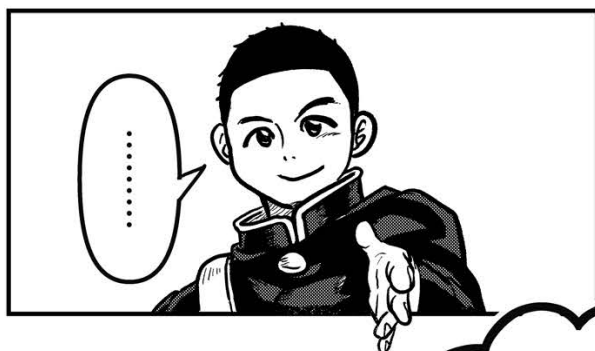


どこかしら
誇らしい表情
に感じる…









本格的な「医者への道」
を歩みだす事となる
のでした……!

そして、3年後の1952年
弘之は、熊本県立熊本高等
学校へと進学を果たし

この坂井さんとの出会いが
弘之の夢をますます固く
していきました。



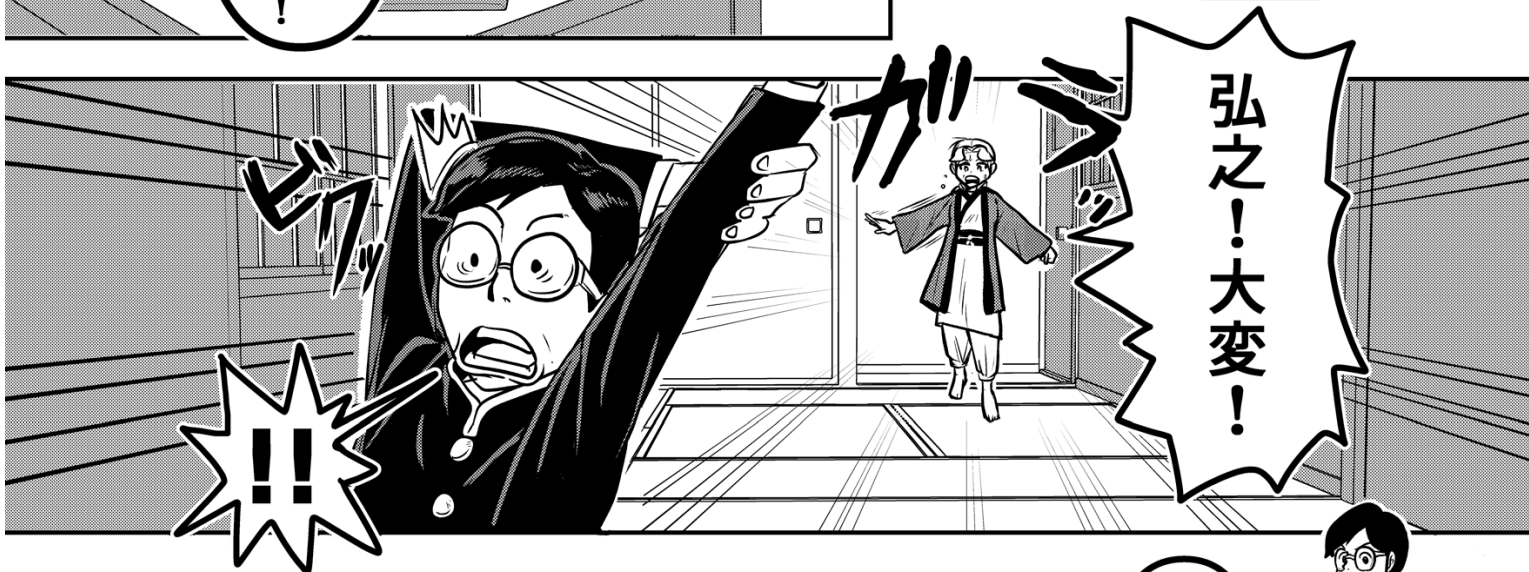
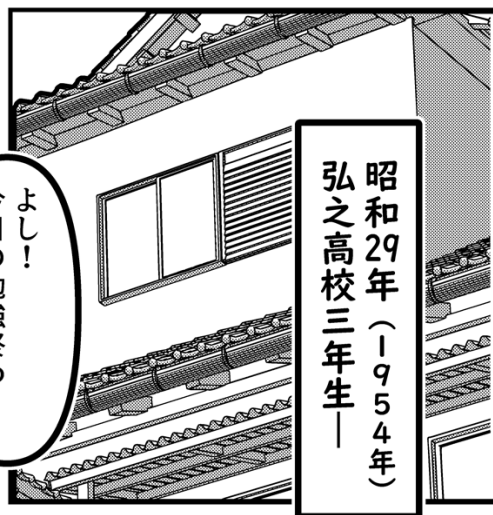
◀第二章へ続く

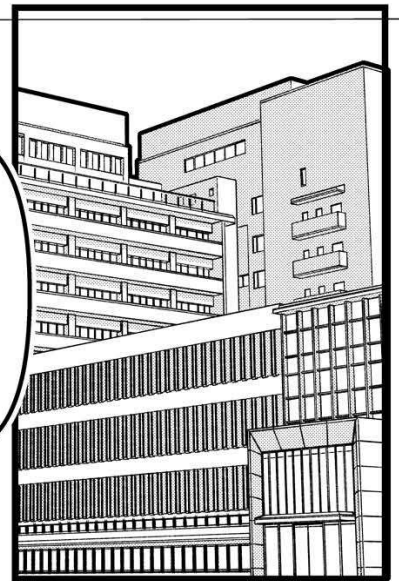
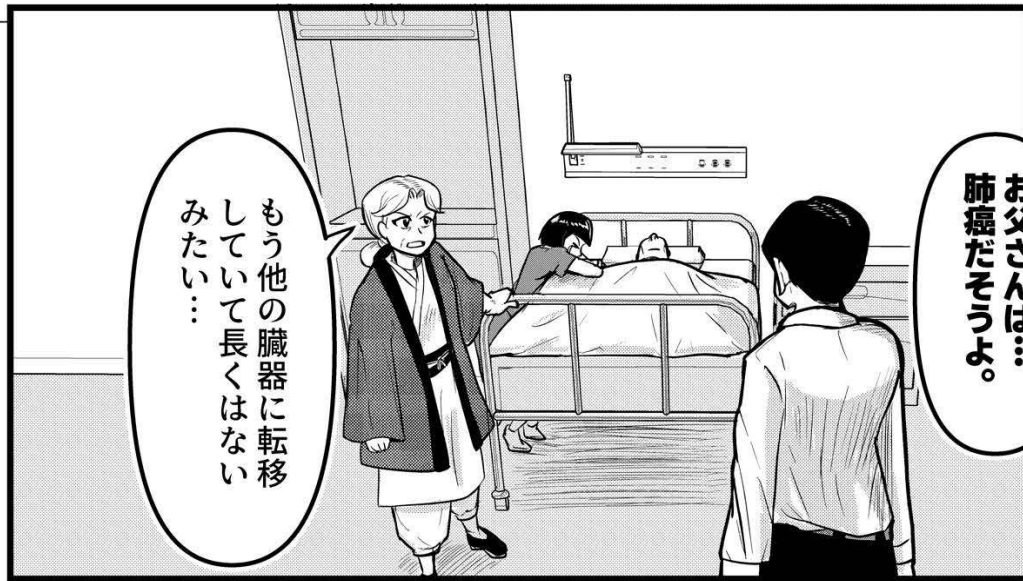


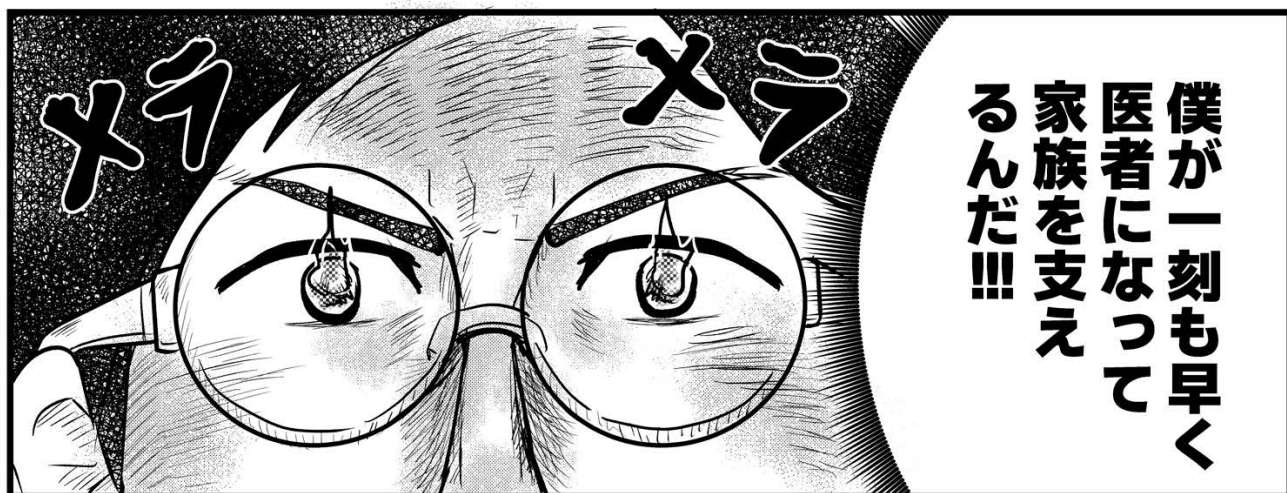
第二章

医者への道

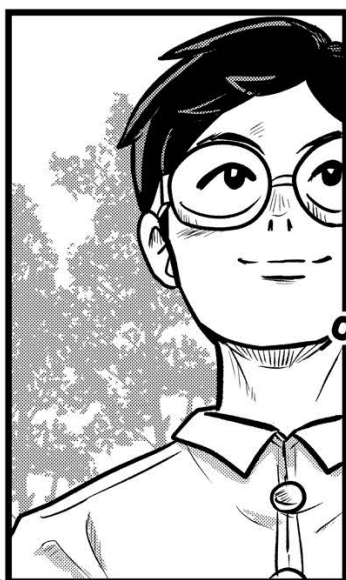








僕が一刻も早く
医者になって
家族を支え
るんだ!!!



ついに念願の熊大に
入学できたぞ!



それから弘之は
熊本大学医学部に
入学します。

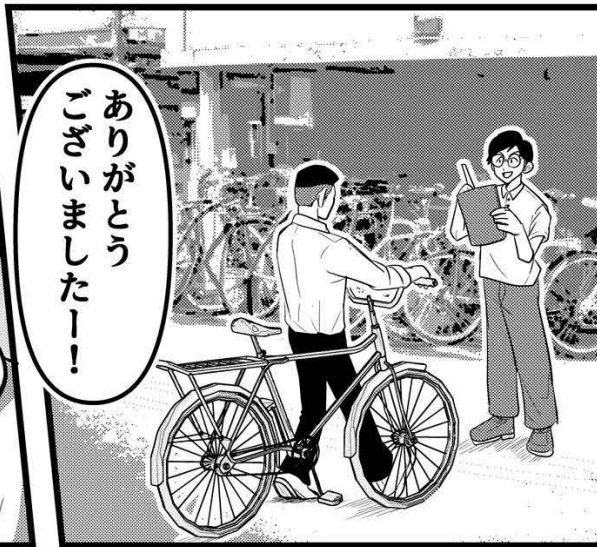


弘之の学生生活の
ほとんどはアルバイト
と勉強でした。

ごめん
今日予定あるんだ。
また今度行こう!



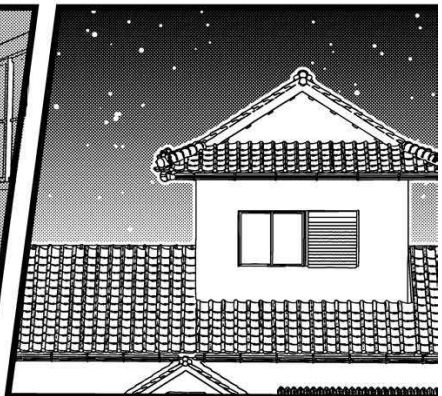
弘之ー!
飯行こうぜ!!



周りの友人と遊ぶ機会も
減って、辛い思いをすること
もありましたが…



家族…
そして自分の夢
のために努力を
重ね続けました。



これが続ければ
家族も生活に
困らないはず…!

奨学金があるとは
いえ、学費も自分で
まかなえるし…



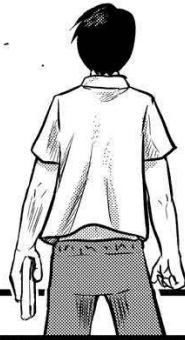
やったー!

結構稼げたぞー!!

フウ…
今月も家庭教師2箇所、
休日は自転車預かり所での
バイトで…

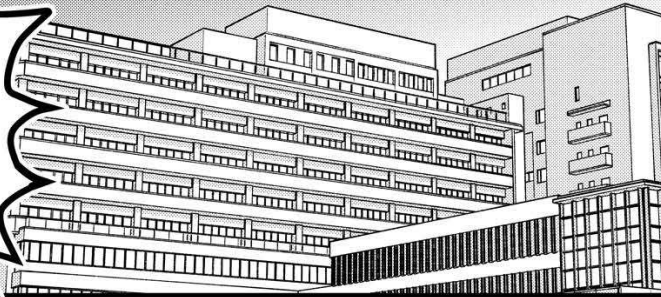
お父さん…

僕が医者になるまで
どうか生きてくれ…！



しかし4年後の
昭和33年（1958年）
弘之大学4年生—

お父さ—
—ん！！



お父さん…今まで
ありがとう…！

僕かならず医者に
なってみせるから
天国から見えてね…

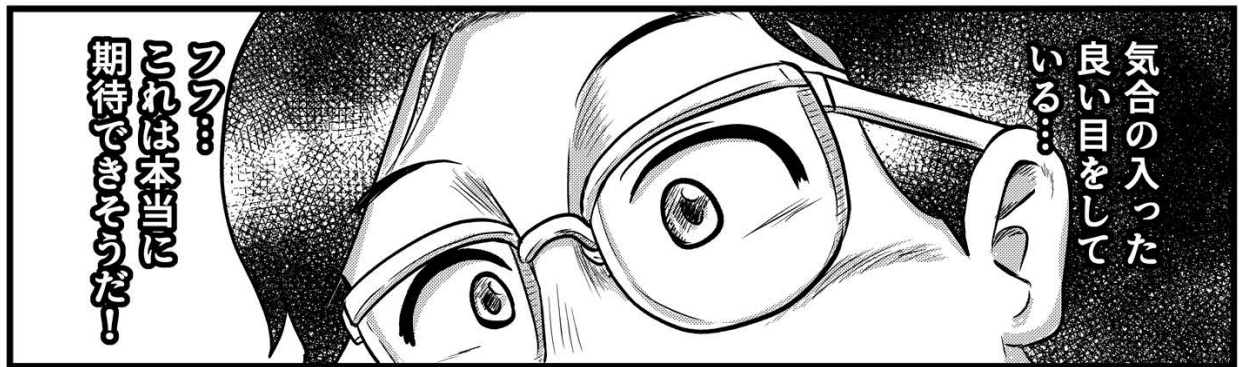


弘之の最愛の父
義光（よしみつ）が
亡くなります。









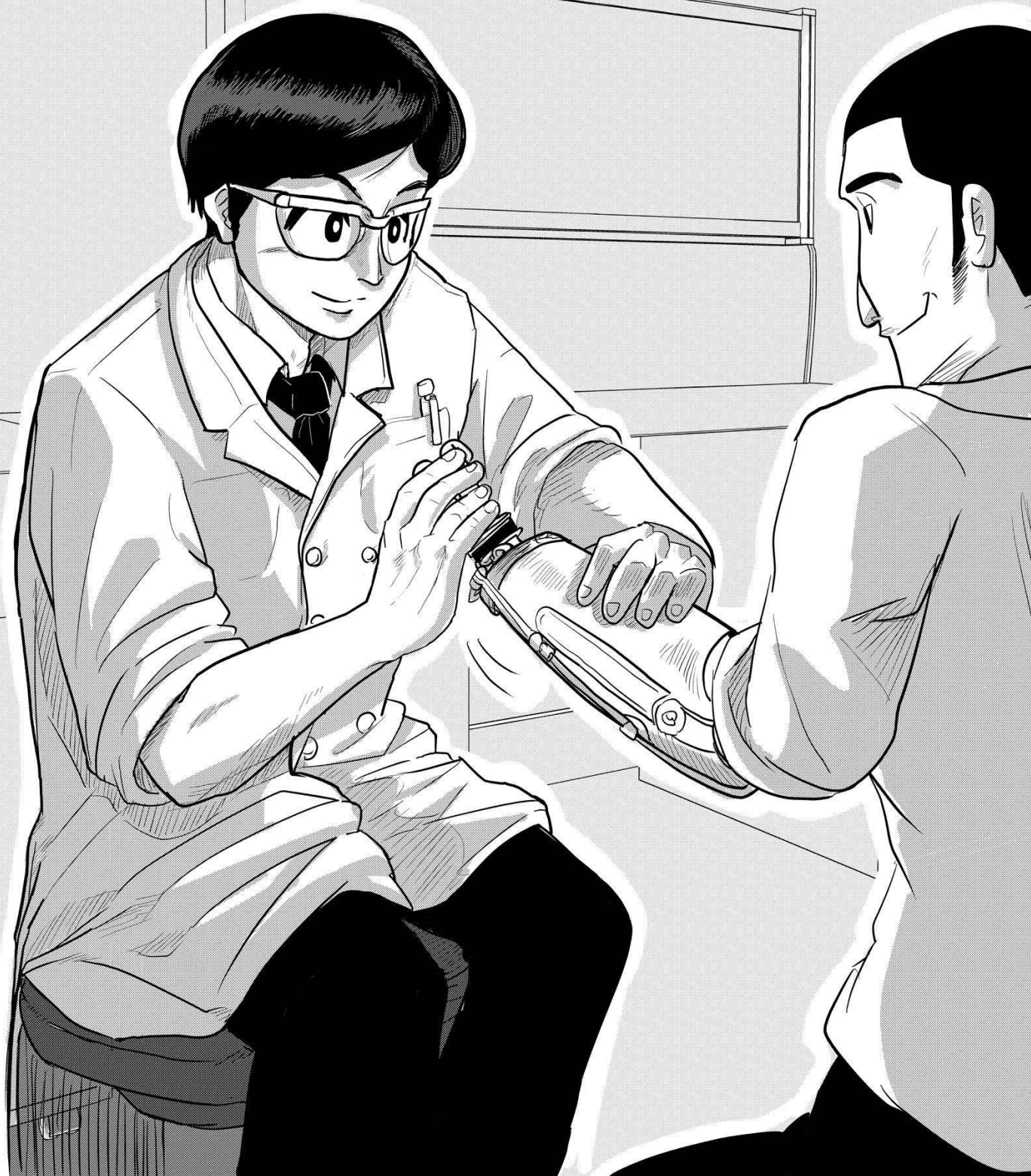
ハイッ！



こうして弘之の医療人生が幕を開けました。

第三章

医師としての成長



ついに叶えた
医師の夢―

体調

どうですか？

弘之はこれから
新スタートとして
更に学び、成長をしていく―

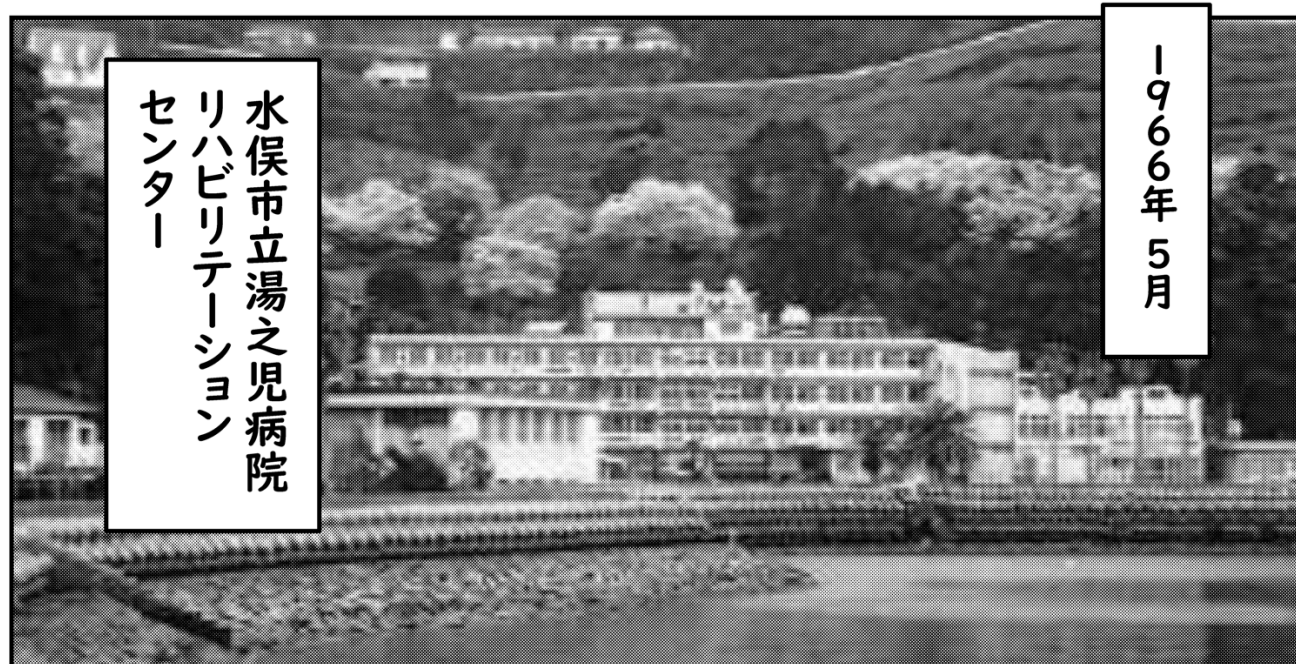
1966年4月―

医師としての
生活は
慣れたかね？
米満先生

そうですね！
玉井先生の
ご指導のおかげも
あり、当初よりも
大分慣れて
きました！

ふふ…そうか！
では早速だが…

ハイ！







うう...

グイル

グイル

浅山先生、
この患者さんは
脳性麻痺ですか??



赤ちゃんが
苦しんでいる...

グイル



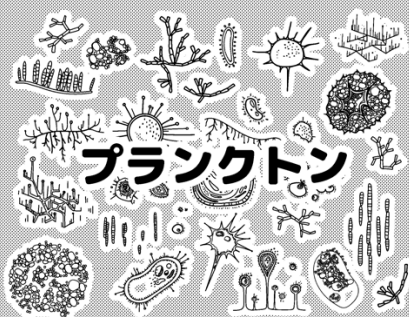
水俣病...!

この患者さんは
「胎児性水俣病」
と言って、
お母さんのおなか
のなかにいるとき
に水俣病になって
生まれてきた
赤ちゃんなんだ



水俣病とは――

工場排水
(メチル水銀)

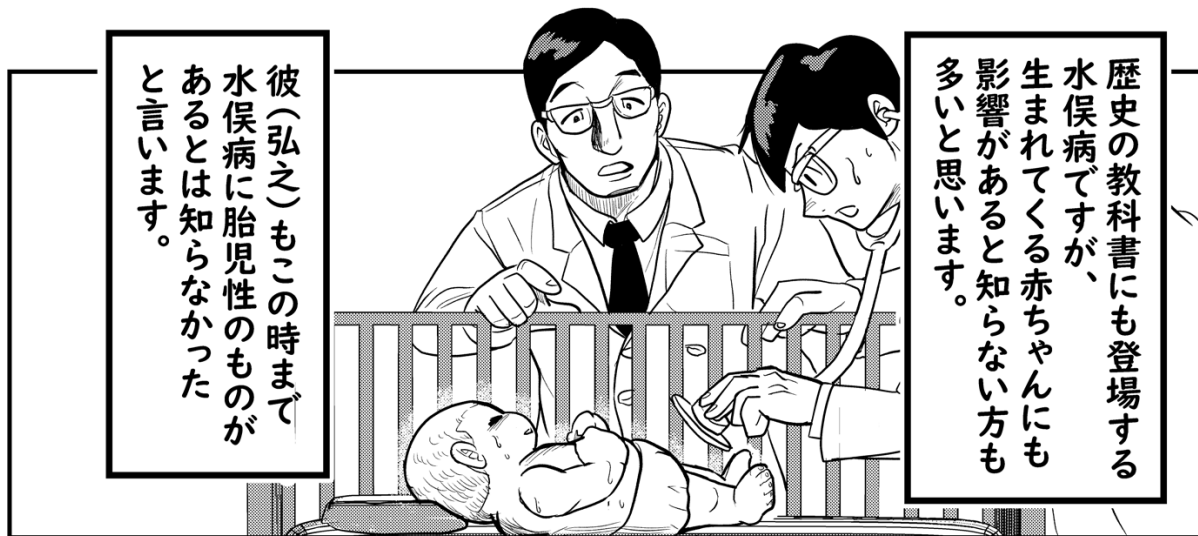


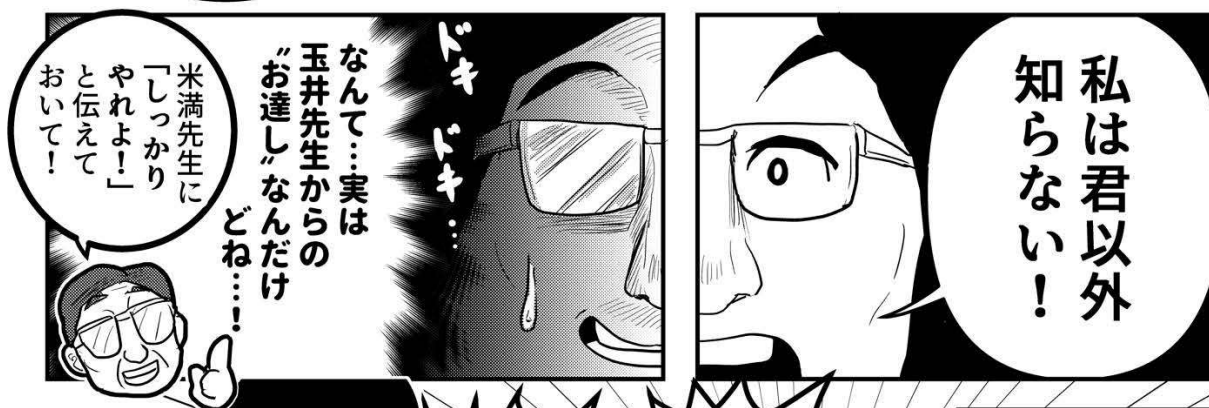
工場から流れたメチル水銀に汚染された魚介類を長期間たくさん食べることによって起きる中毒性の神経疾患です。

メチル水銀は毒性が強く、血液によって毒素が脳に運ばれ人体に著しい障害を与えます。

汚染された魚を直接食べていなくても、妊娠中にお母さんが汚染された魚をたくさん食べると、メチル水銀がへその緒を通じて赤ちゃんの体内に入り、赤ちゃんが水俣病になって生まれてくることができました。

※なので、親からの遺伝によって子供が水俣病になるわけではありません。胎児性水俣病の患者さんはお母さんのおなかの中にいるときにメチル水銀によって障害を受けたため、脳がうまく発育しなかったり、脳の神経細胞が破壊されたりして、症状の重い人の多くは、幼いうちに亡くなりました。





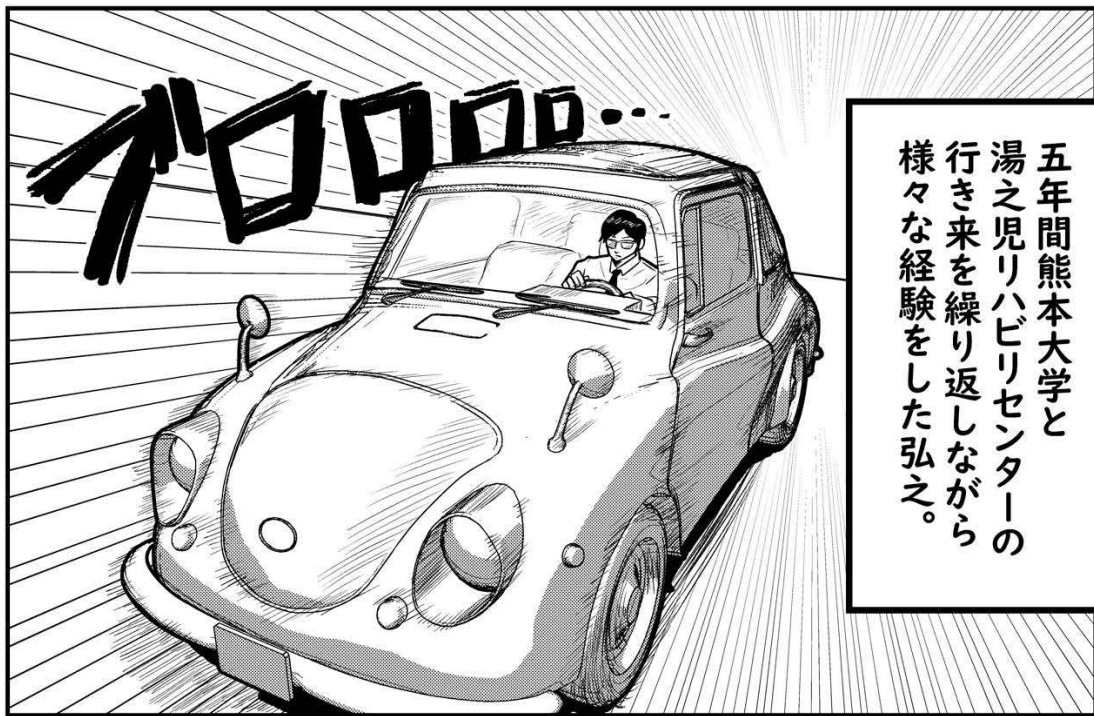


第四章

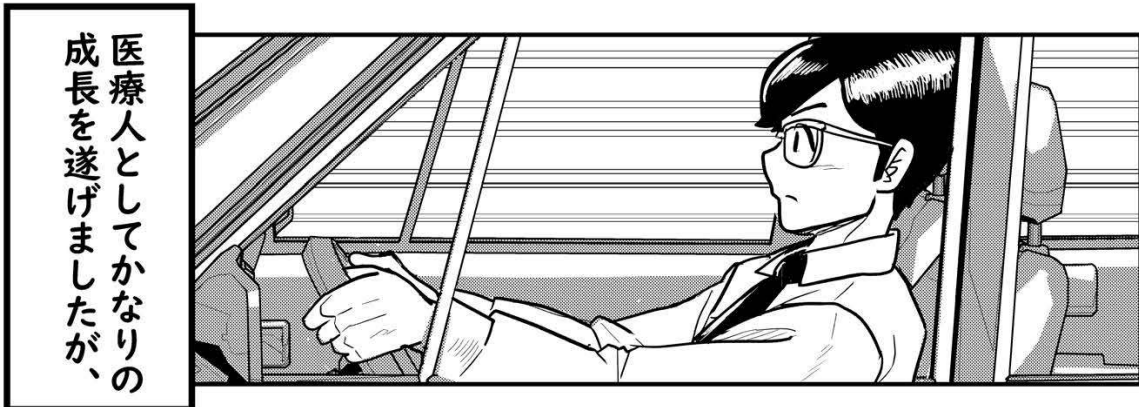
スペシャリストとの出会い



取材協力：株式会社徳田義肢製作所



五年間熊本大学と
湯之見リハビリセンターの
行き来を繰り返しながら
様々な経験をした弘之。



医療人としてかなりの
成長を遂げましたが、



これから更に弘之の
リハビリに対する考えと
義肢技術に影響を与える
スペシヤルな人物との
出会いがあります。

熊本大学――











この当時、リハビリに対する
考え方が今と少し違うところ
がありました。

受傷してすぐに訓練を
始めてできるだけ
障害を残さないようにする
今のリハビリと違い、

「後治療」と呼ばれる
当時のリハビリは、手術や事故
でのキズが治り症状が固定して
から訓練を開始する…
というパターンがほとんどでした。



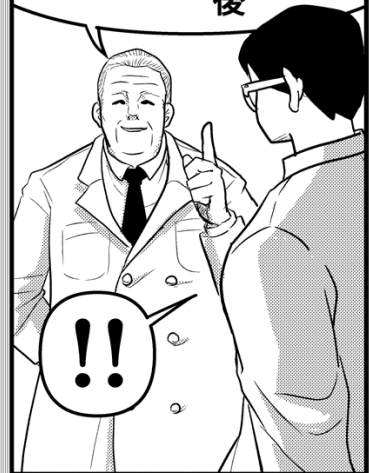
ここから澤村先生の
下で多くのことを
学んでいく弘之。

澤村先生の義手・義足の
技術が現代のリハビリに
どう繋がってゆくのか…
もう少し見てみましょう。



そのため、長期間身体を動かさないので、
筋肉量が減り、筋肉だけでなく
関節の機能も十分に回復しないままに
なってしまいう発症前の生活にはなかなか
戻れないという患者さんが多くいました。

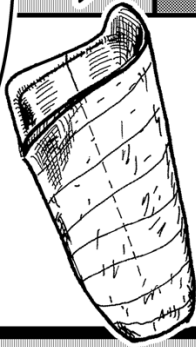
米満先生、
君に
「切断術直後
義肢装着」
という
技法を
教えるね



切断術直後義肢装着 とは――

①ギプス包帯で
切断端の「型」を
取ります

②型からギプスの
「ソケット」を作ります



これは切断手術直後に
手術台上でギプスソケット※
を装着させて――

※切断後の残された脚の部分である
「断端(だんたん)」を適切に収めて
義足に力を伝えるための重要な部分です。

③ソケットにパイロンを取り付け、
仮義肢をつくります



これに予め用意した
パイロン※を主とする
義足部品を取り付けて
リハビリを早期開始
させる方法です。

※金属のパーツを組み合わせてつくる、
人間の「骨格」にあたる部分のこと

④完成させた仮義足でリハビリ
を開始させます



この方法は
これからの
切断手術直後
において主流に
なってくる
はずです。

その通り、患者さんにストレス
かけないことがリハビリ
において大事ですからね。

なるほど……！
早期にリハビリに取り組むことが
できるので、日常生活に戻る
時間が通常の手術と比べて
圧倒的に早くなりますね！



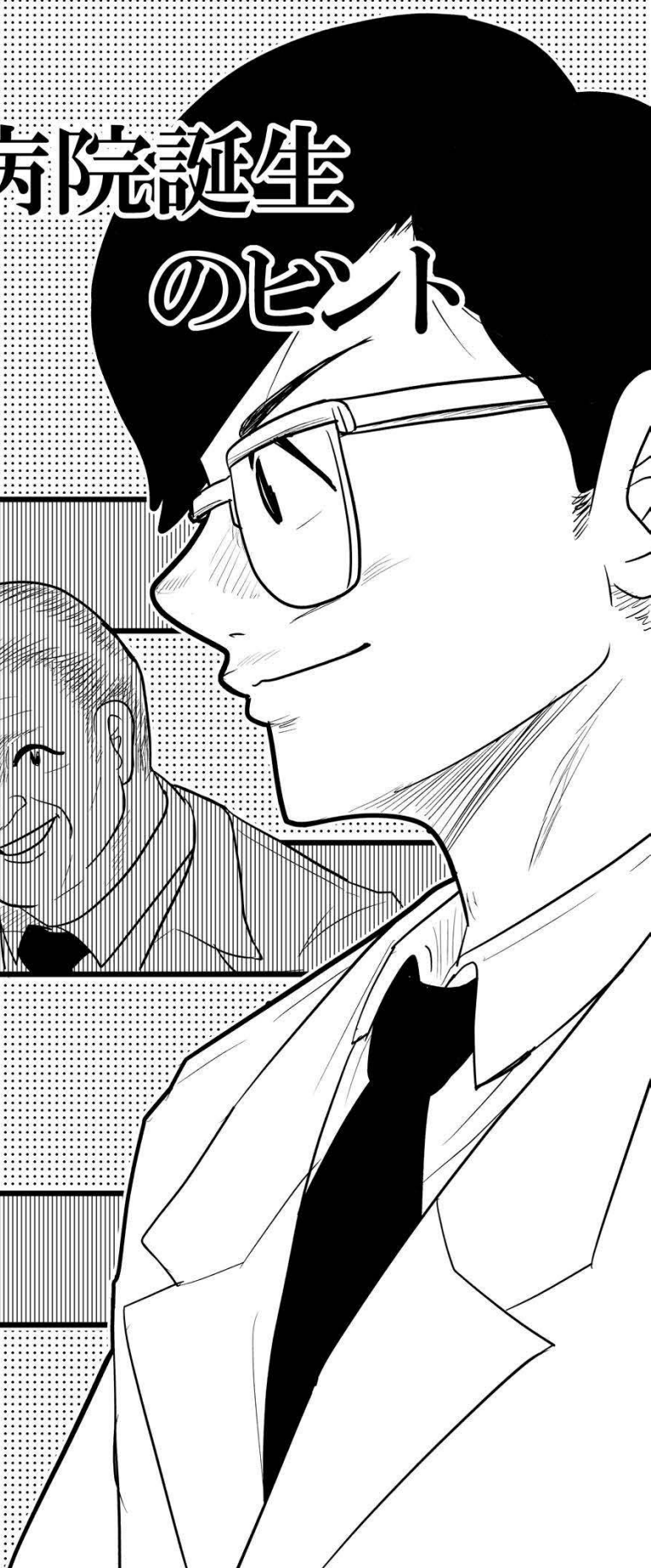
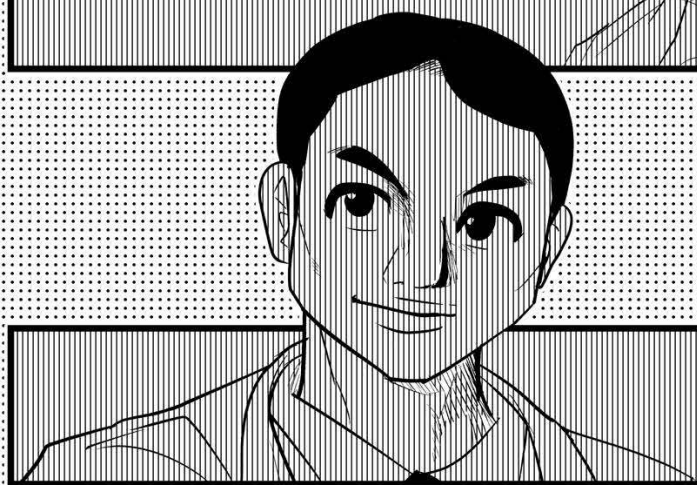
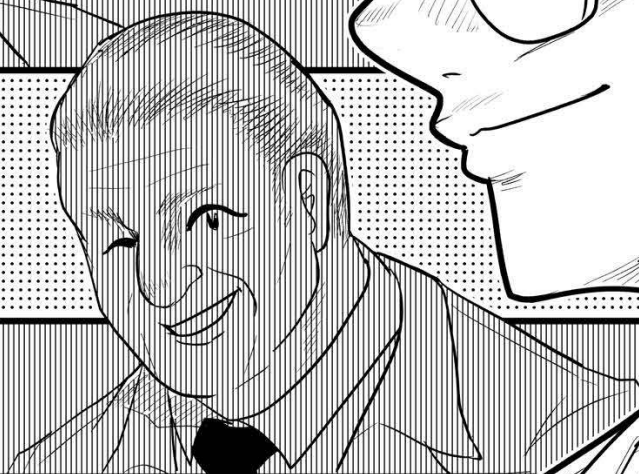
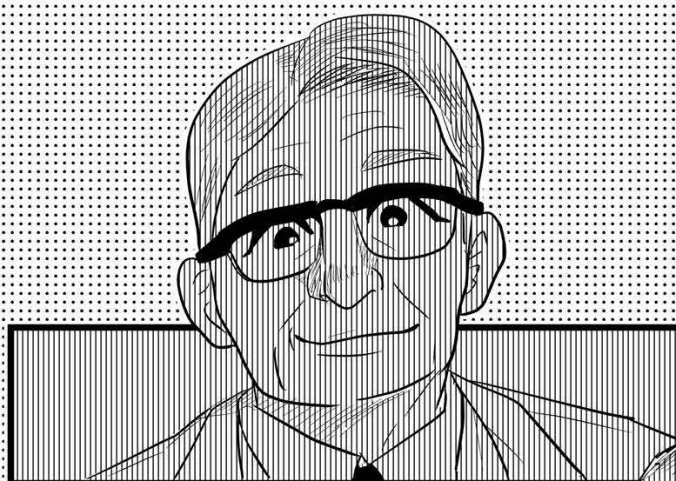




第五章

熊本機能病院誕生

のヒント







熊本に帰るとー

お!

米満先生長い期間
お疲れ様!

随分と遅しく
なったな!

見た目だけではない…
何かつかんで
来たようだね。

はい…!

顔を見れば
分かるよ。

……

私はこの数カ月間、澤村先生の
下で多くの手術、そして義手・
義足の製作にかかわってきました。

でも、中には治療がうまく
いけば手足を切断せずに
済んだのではないかと…
そう悔いが残る患者さんも
いました。

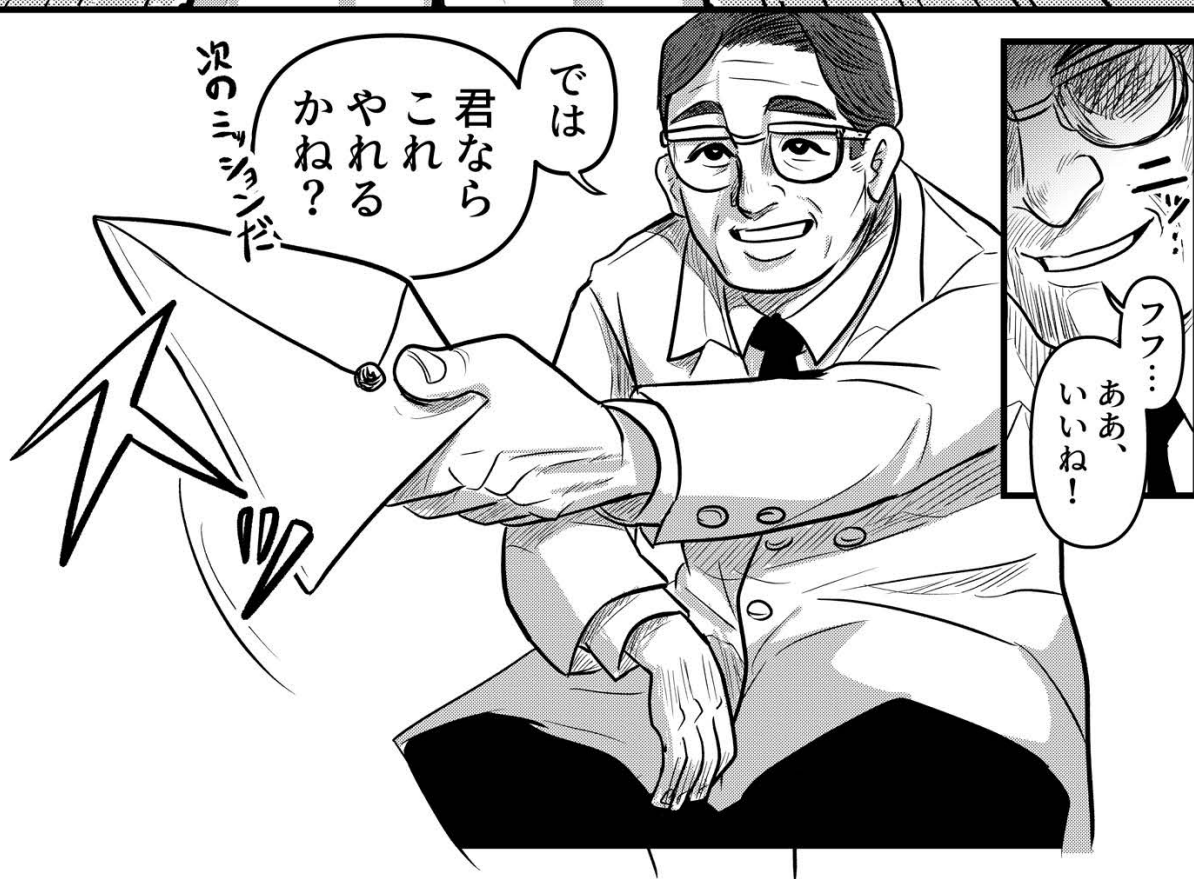
補完する義手・義足も
もちろん大事ですが、

それ以前に災害事故で大怪我を
しても、最終的に手足を残して
使えるようにする…

整形外科医としてリハビリより
先ずこのことから極めるべき
だと気づいたんです。

だから
玉井先生

私は…





※日本では、1958年から睡眠薬「イソミン」として発売していました。
サリドマイドの科学 より引用
<https://sekatsu-kagaku.sub.jp/thalidomide-science.htm>



サリドマイドの影響で
手足を失った子どもは
「サリドマイド児」と呼ばれ

弘之は、玉井教授の期待に
応えるべく、兵庫リハで
得た知識をこの子どもたち
へ…という想いで研究に
明け暮れていました。

今日は問題
なし…と



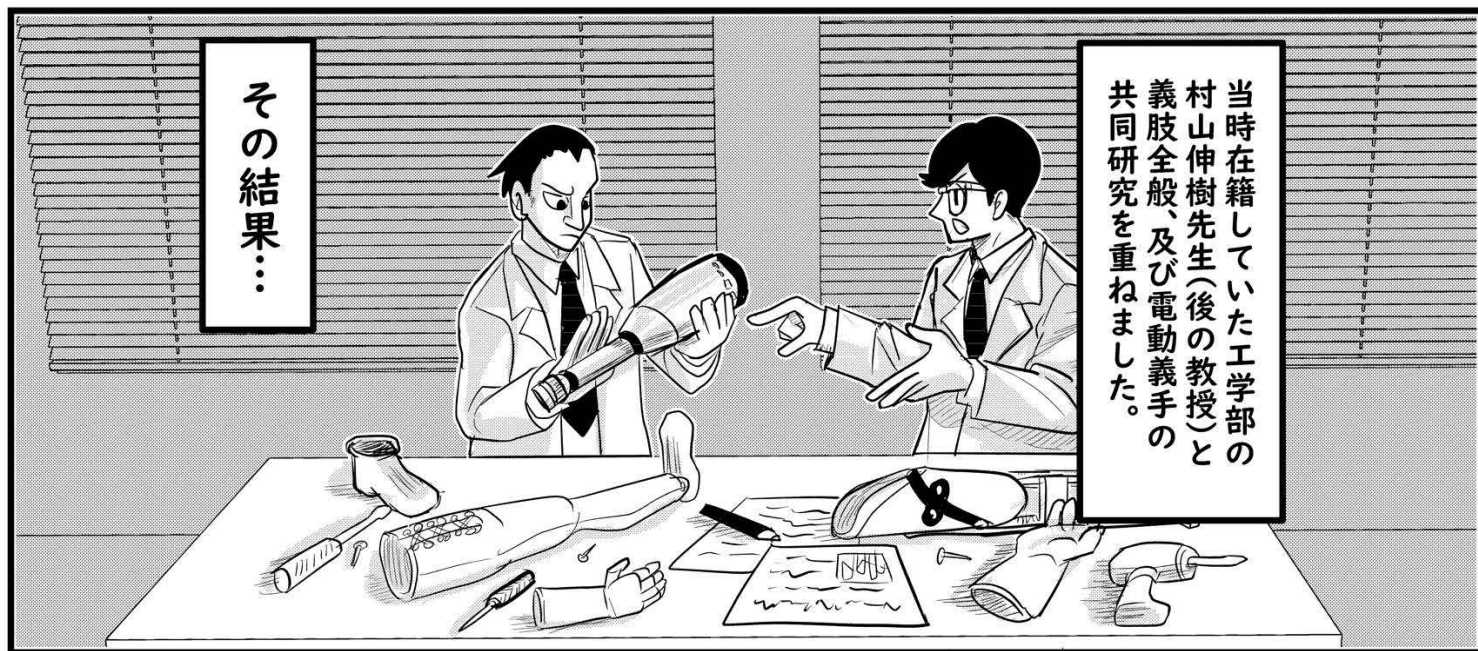
しかし、この研究は
弘之一人では限界
があったといえます。

よし
それでも決して
諦めない弘之は



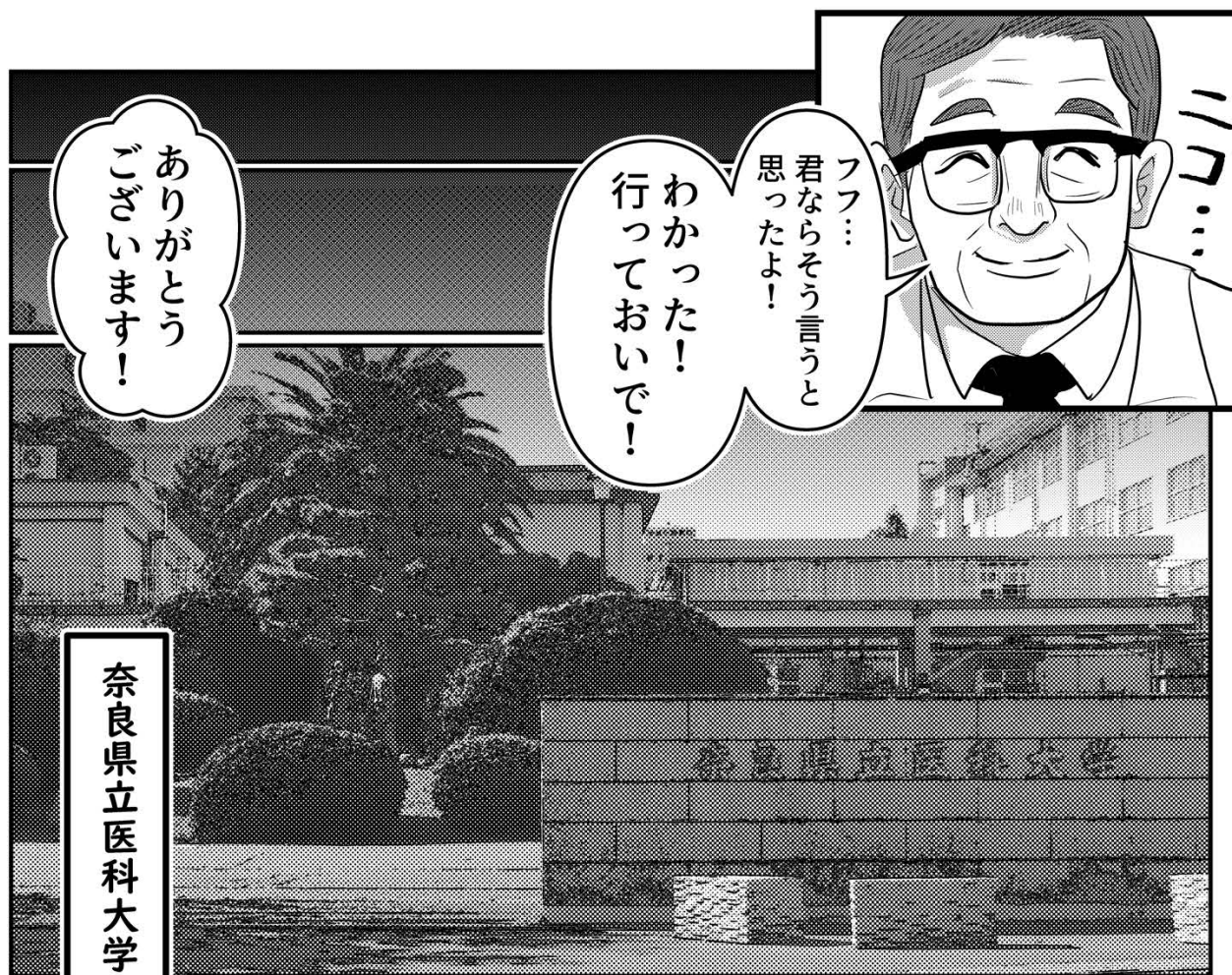
この研究は医学の殻に
閉じこもったままでは
いけない！

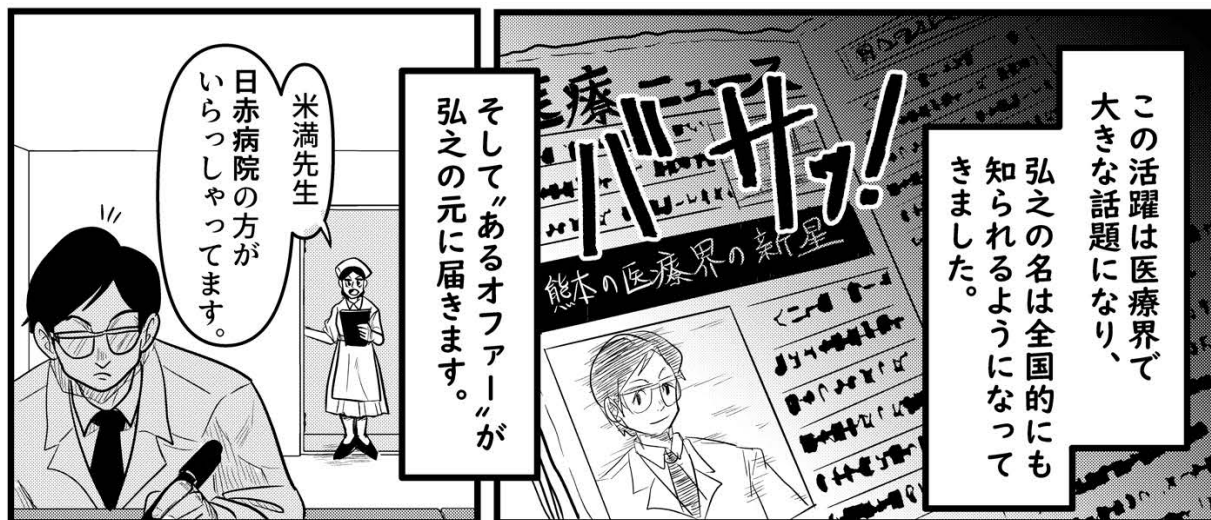
と、すぐに
「熊本大学工学部」
に連絡を取り

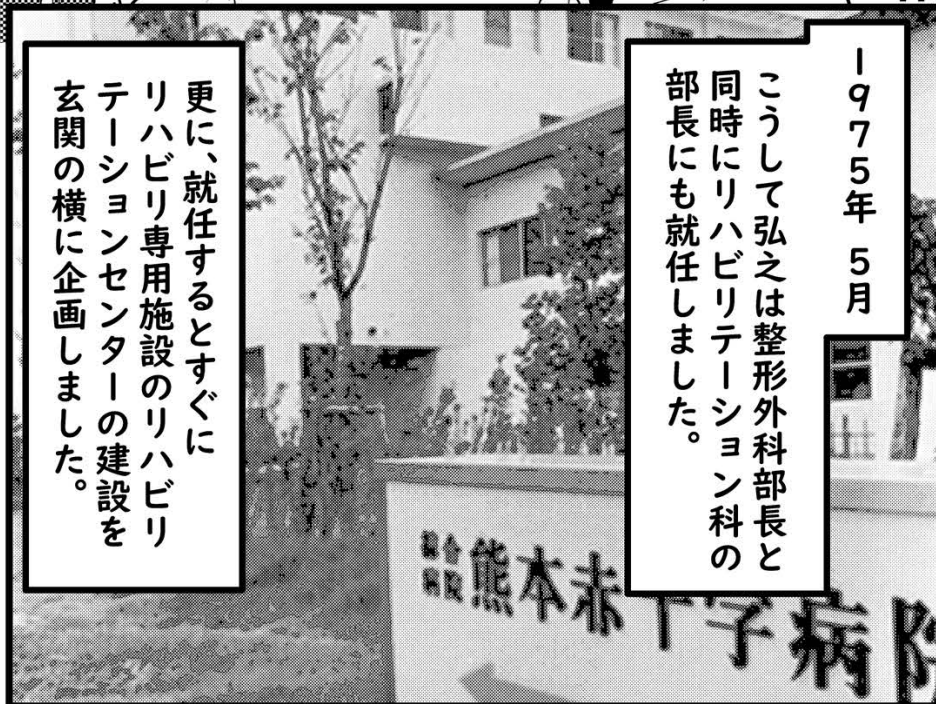
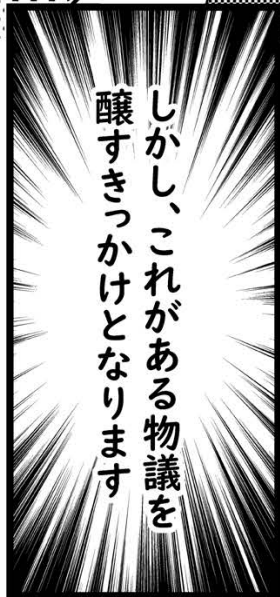
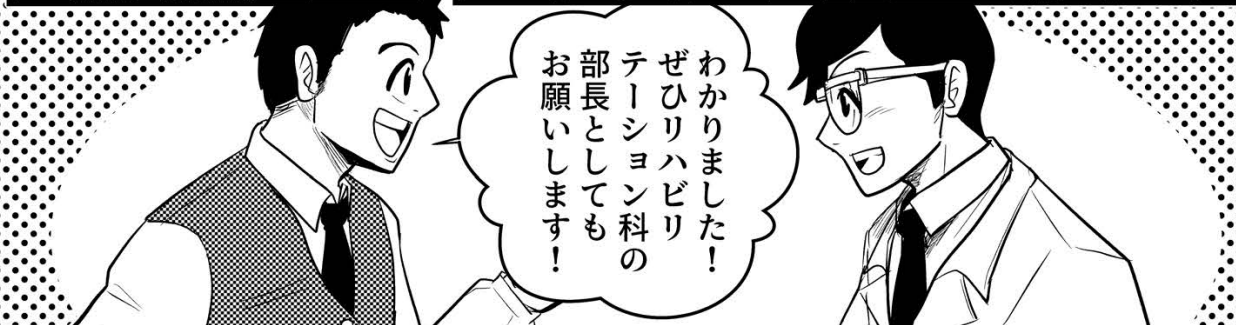














このままでは
いけない…!!

澤村先生も
言われていた…

「リハビリテーション
には救急医療が
なきゃダメなんだ!!」



よ、米満
先生…!



後日—



本当ですかっ!?

ど、どうやら今回の話は
県知事の耳にも届いて
いたみたいでして…!!

!!?



今大丈夫
ですかっ?

またリハビリテーション
センターの話ですか?



リハビリテーション
センターの件…

病院の正面玄関横に
つくっても問題
ありません…!!

熊本県知事(当時)

沢田 一精

何ですって!?

病院の中に
リハビリテーション
センターをつくる!?

…とても素晴らしい
ことじゃないですか!
県としても応援しましょう!

と、いうことで
許可がおりた
んです!

やった!

よかった…!

よし!これで
再接着手術も!
リハビリも!
義肢の研究も!
全てできるぞー!

リハビリテーションセンター
を無事設立し、
かたや切断四肢(指)再接着センター
を開設した弘之。

そして日赤で、診察や手術だけで
なく、研究も同時にこなす
大忙しの毎日がまた始まるのです…!

1975年から1981年までの6年間、毎日毎日
救急医療、それも四肢外傷の治療に明け暮れた。
その間行った再接着の症例は250症例に達する。

第六章

熊本赤十字病院

での日々



1975年

大忙しの生活を送っていた
当時の熊本赤十字病院の
医師たち…

当時の忙しさを物語る面白い
エピソードがあります

熊本赤十字病院整形外科メンバー

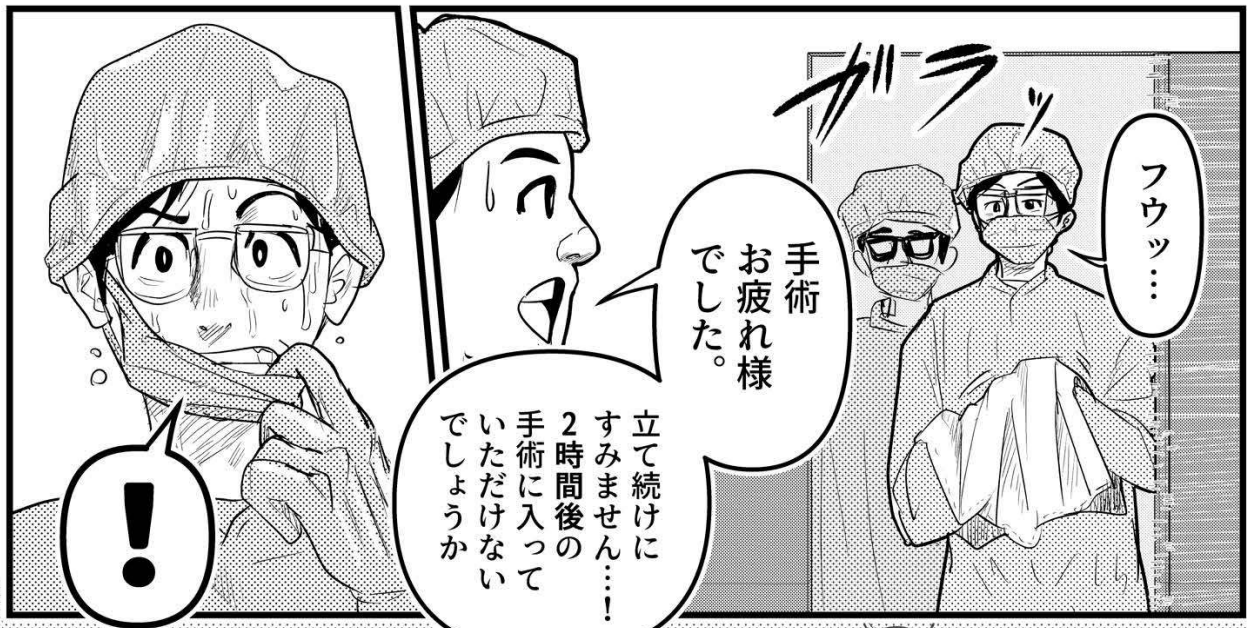
高橋修一朗先生

平良誠先生

中島英親先生

中根惟武先生

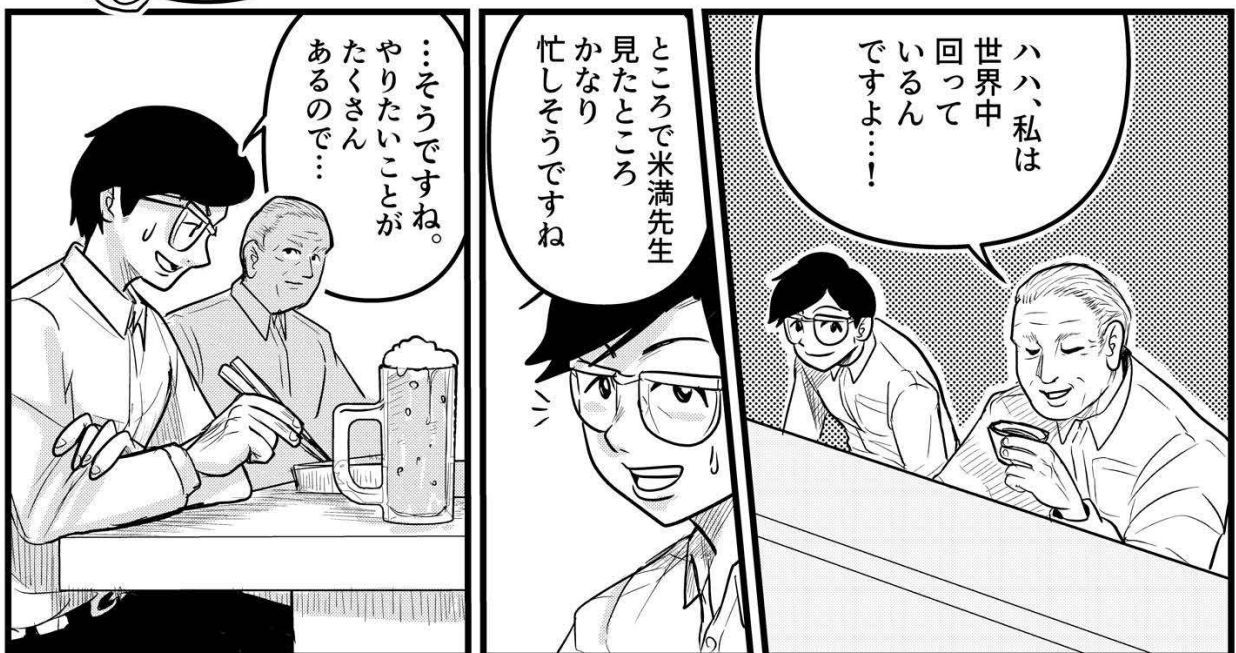
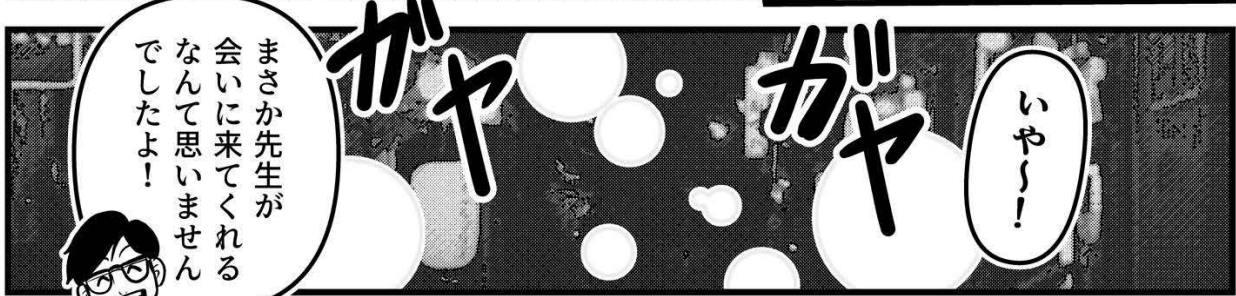


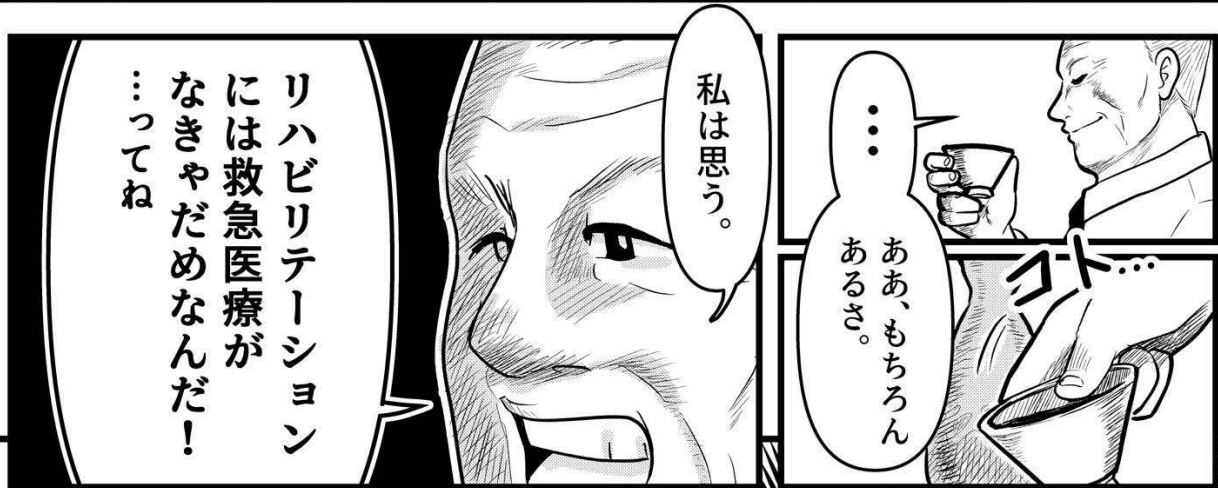


中根先生、中島先生、平良先生、高橋先生ら優秀な仲間の先生たちと協力しながら困難を乗り越えていきます。

10時間以上かかって再接着手術、その後また手術...
当時は大変な毎日だったそうですが











ハハハハ！
そうかもね！

澤村先生…
先生は私の未来が
見えているみたいですね



あっ…!!

※詳しくは 第五章
「熊本機能病院誕生のヒント」
を見てね!



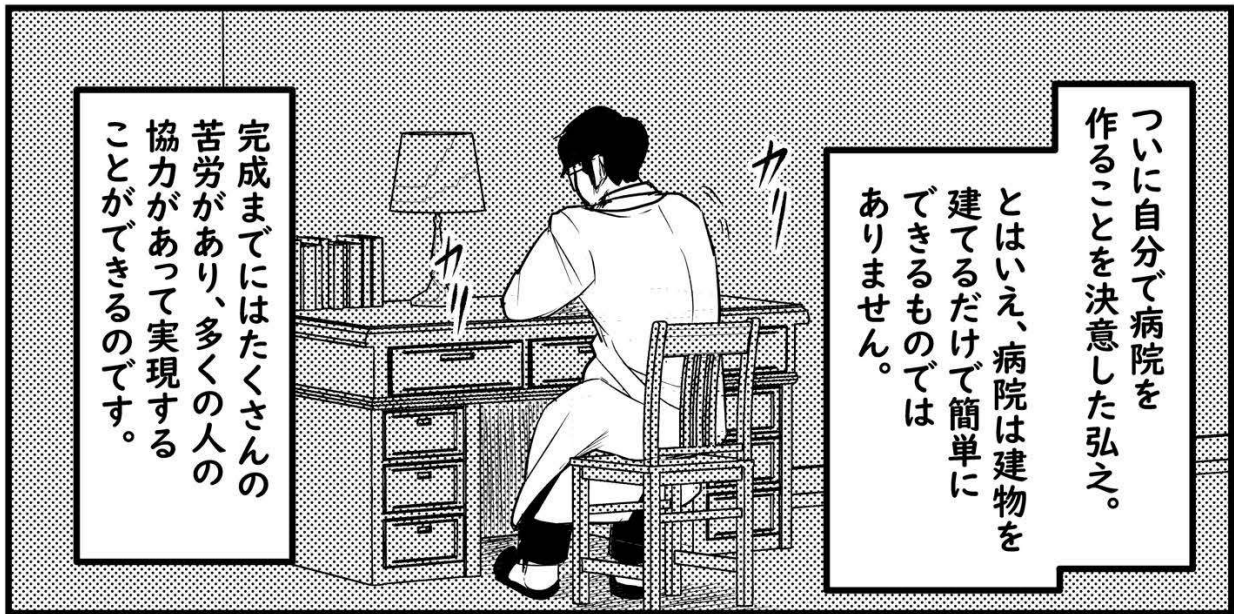
救急から
リハビリまで
一貫して行える…

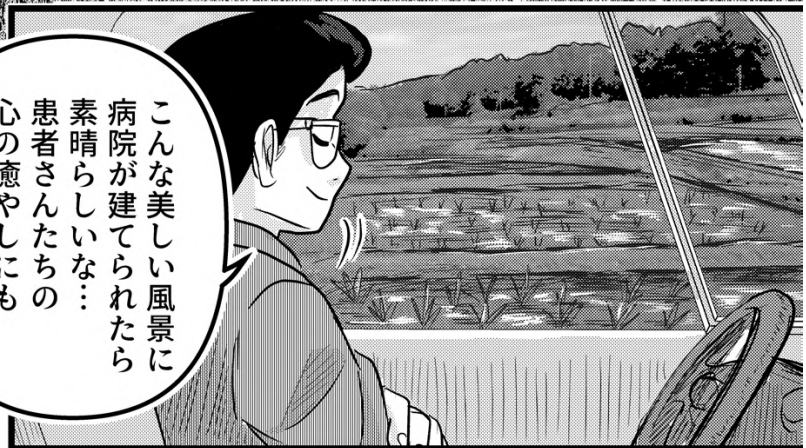
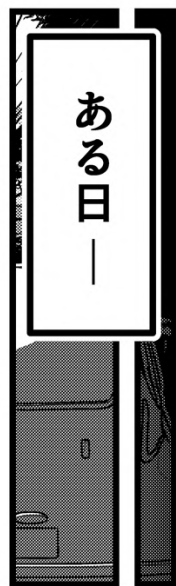
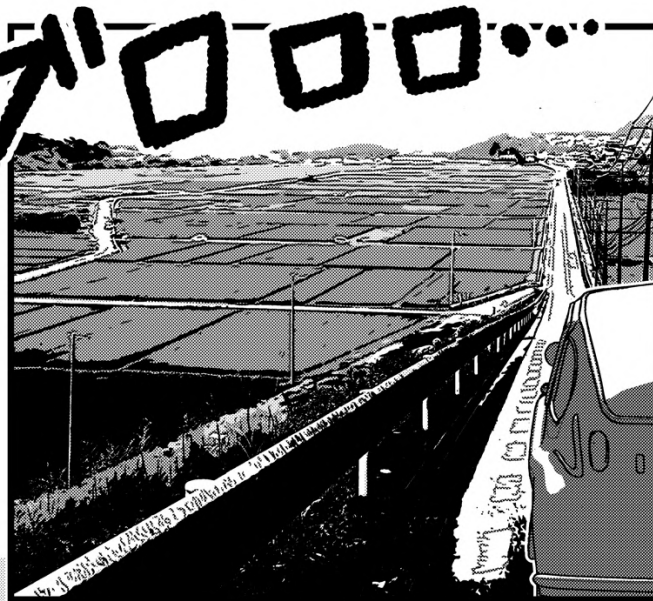
そんな病院を…
私は作ります！

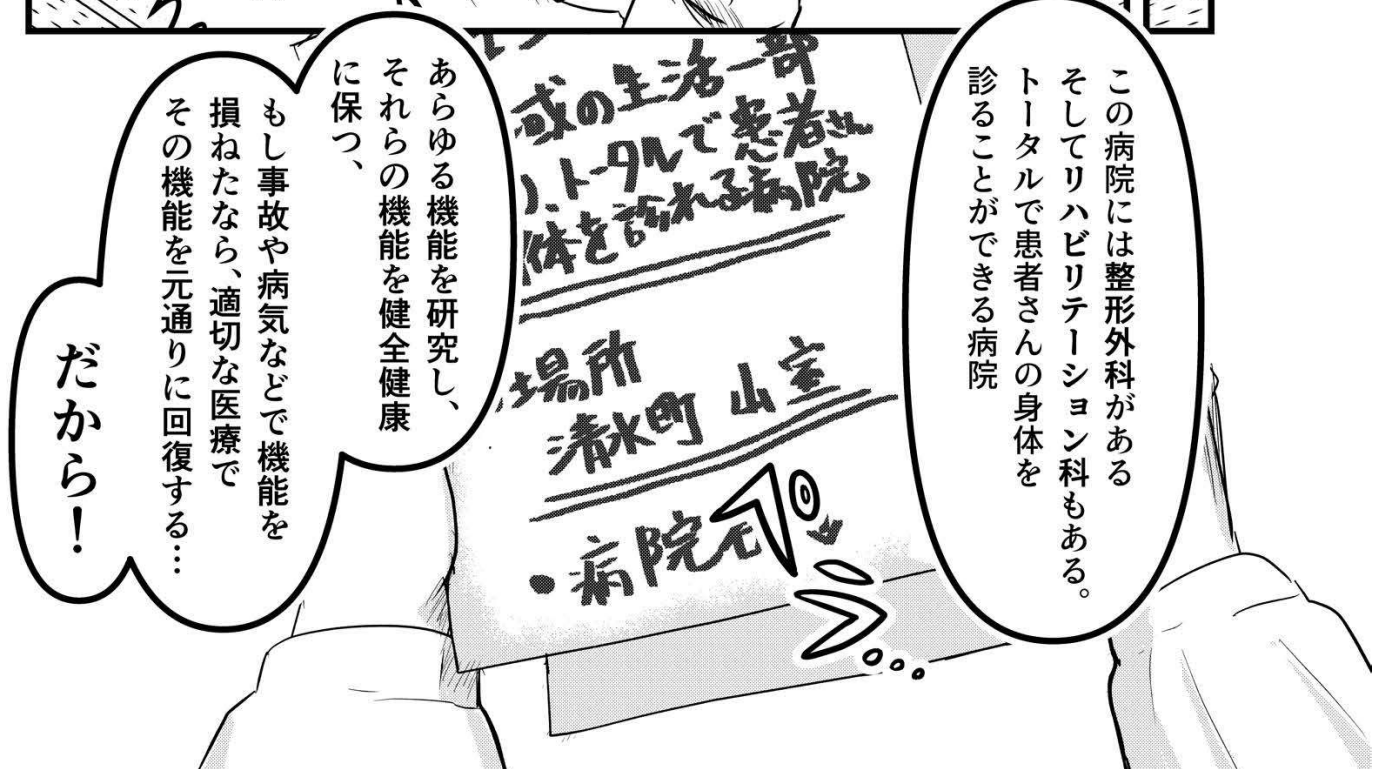
また弘之の新たな
挑戦が始まりました。

第七章 医療の谷間を 埋めるために









くまもと きのう いがく けんきゅうじょ ふぞく びょういん

熊本機能医学研究所附属病院

ど

研究所も
一緒に
つくろしー！



これで
どうだ！

ん

熊本機能医学研究所附属病院

やっぱり間の
「医学研究所
附属」
は抜いておこう

長すぎるかな…



「研究所」と入れる
と（申請のときに
証明がややこしく
なるので）色々と
問題が出てくるな

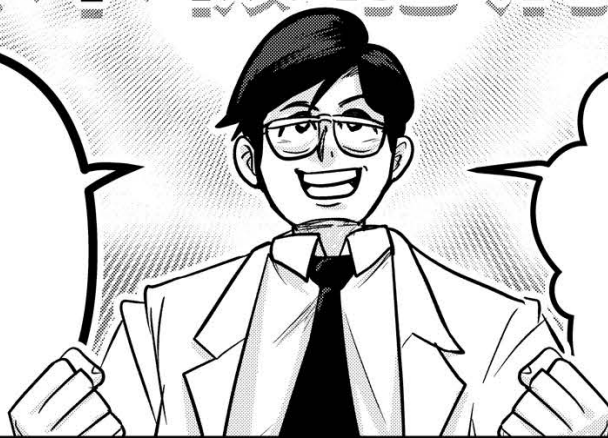
ん、しかし

くまもと きのう びょういん

熊本機能病院

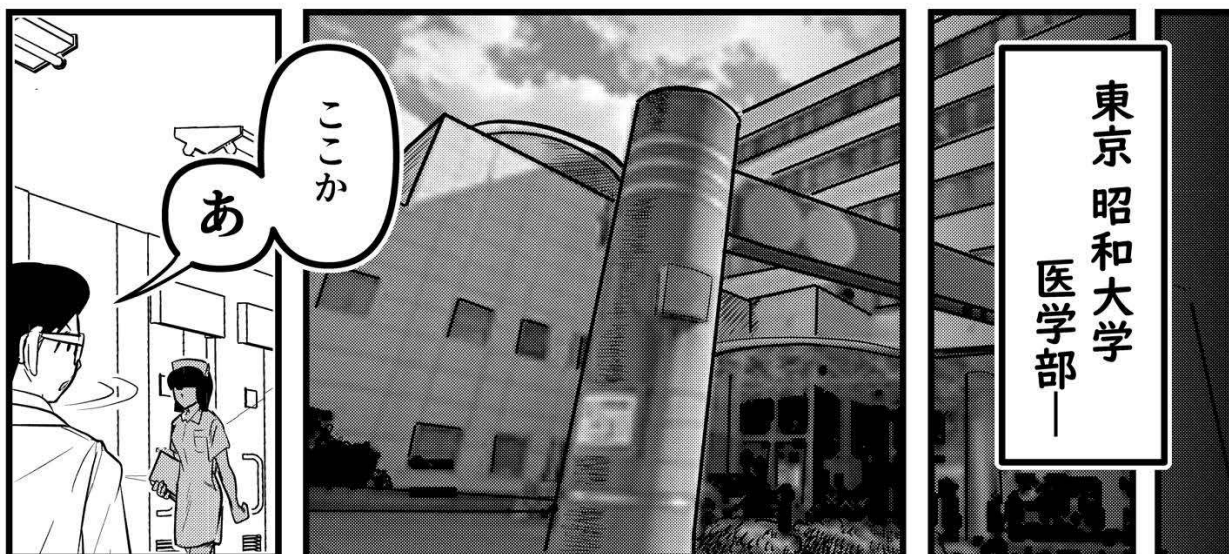
カ

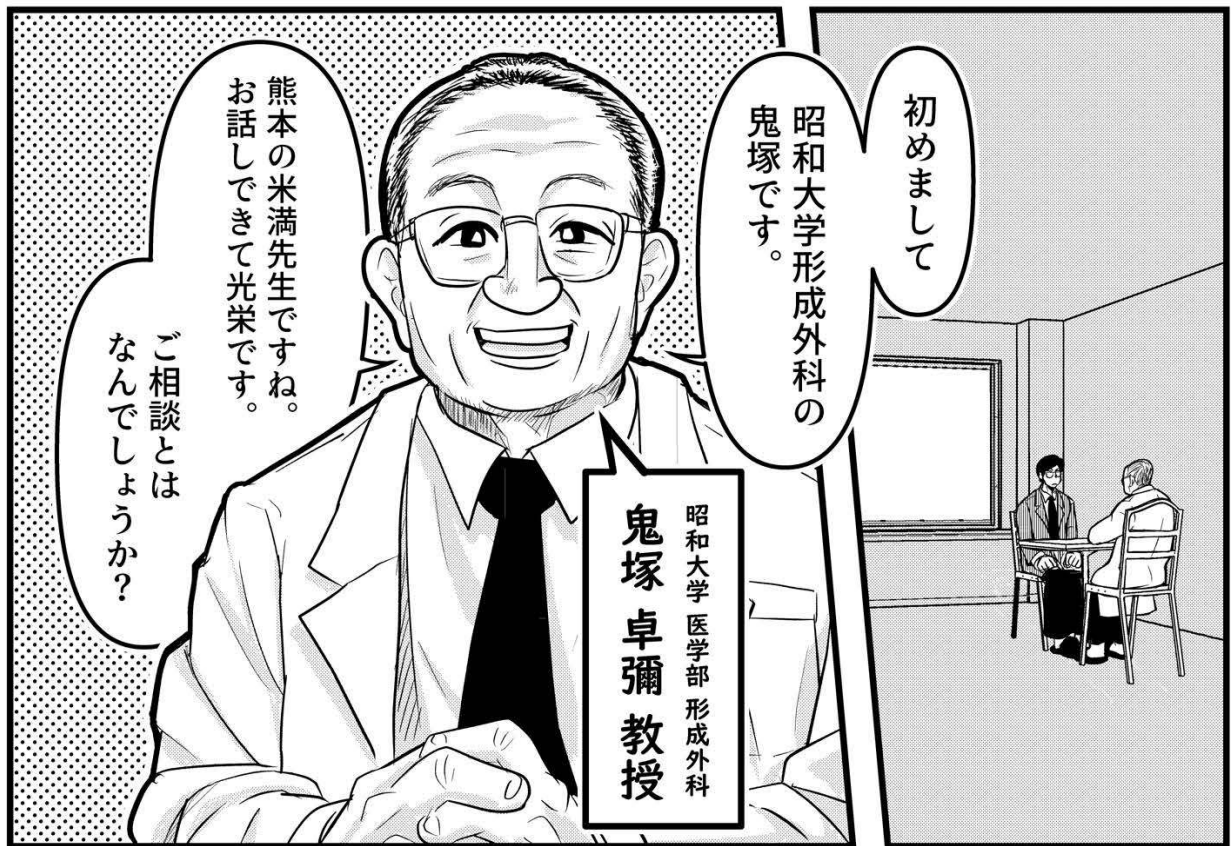
この病院の名前は…
「熊本機能病院」
だ！！



うん。違和感なし！
これだ！
これしかない！

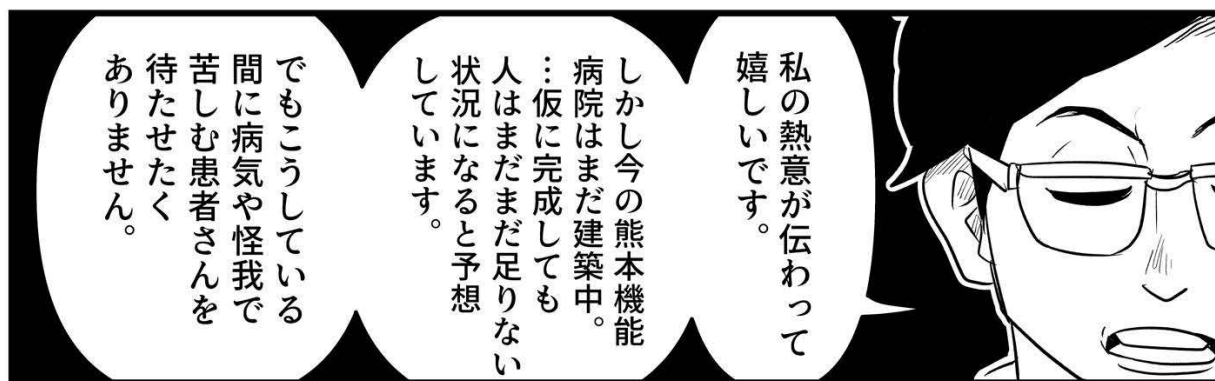
チ

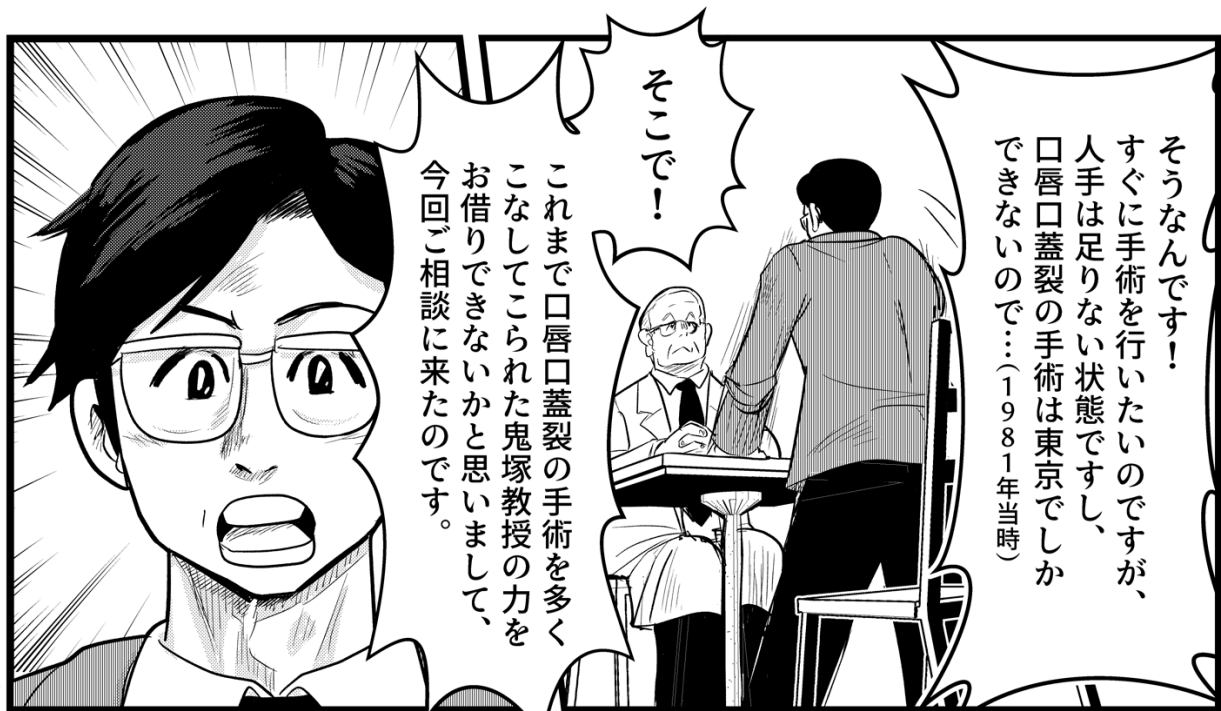












目を見ても
本気度がかなり
伝わります。

この先生…
最初は自分の病院自慢話に
来たのかと思っていましたが、
患者さんのために
わざわざ東京の
私のところ
まで交渉しに
来たんですね。

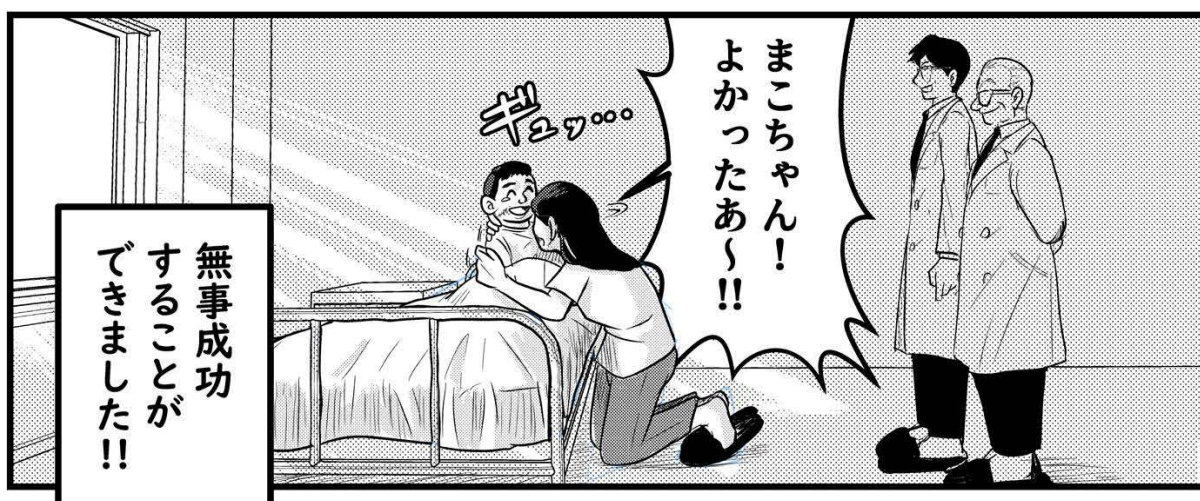


間違いない。
この先生は
“本物”だ

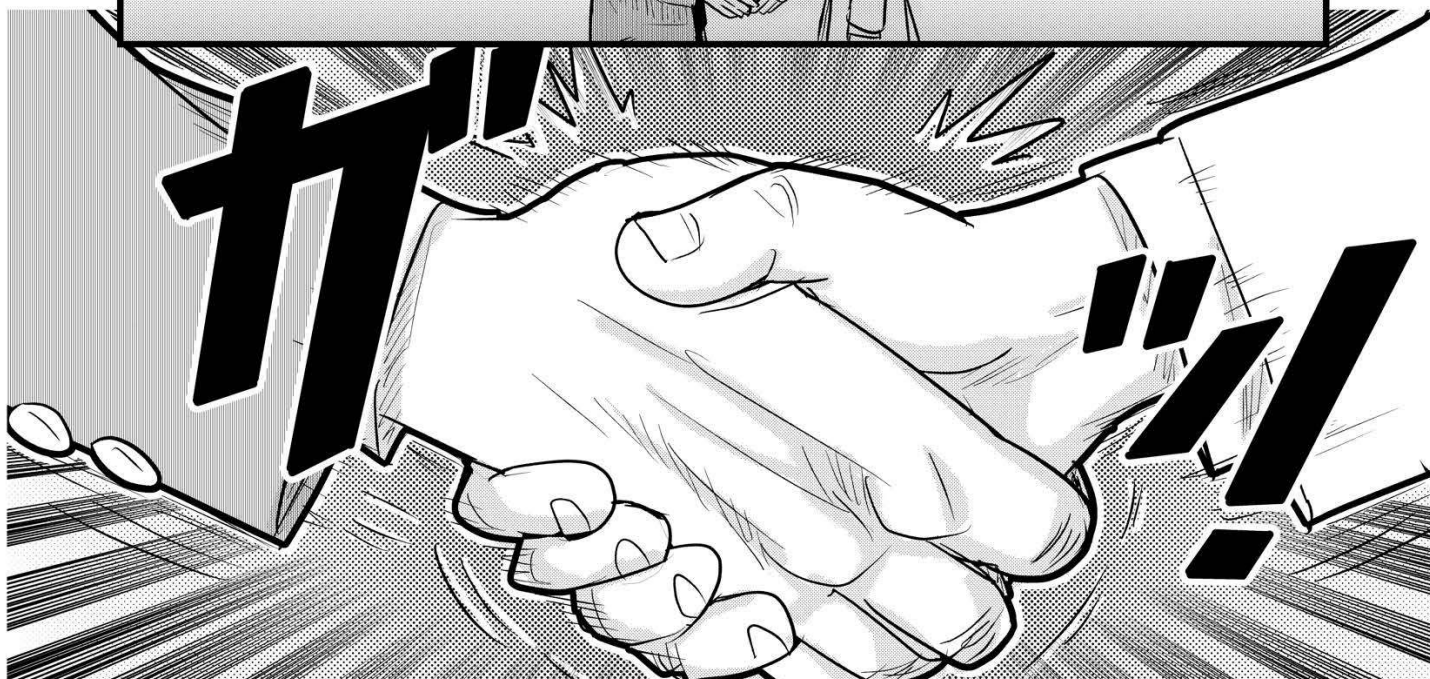
米満先生









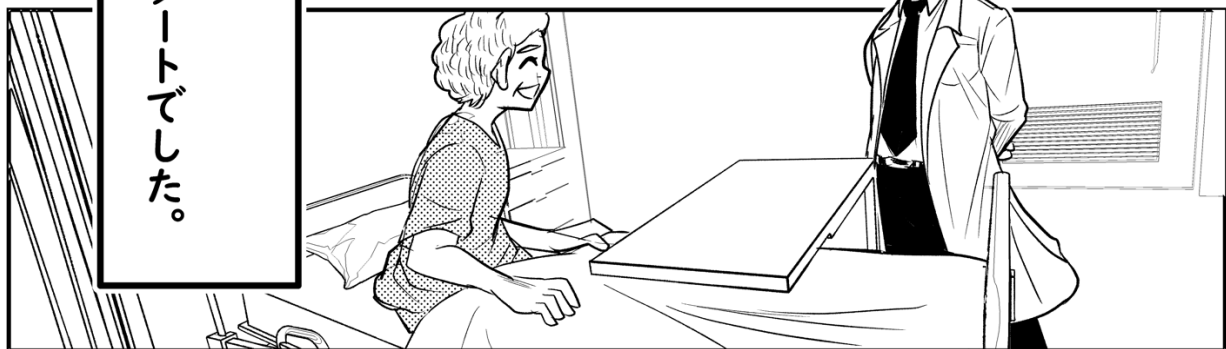
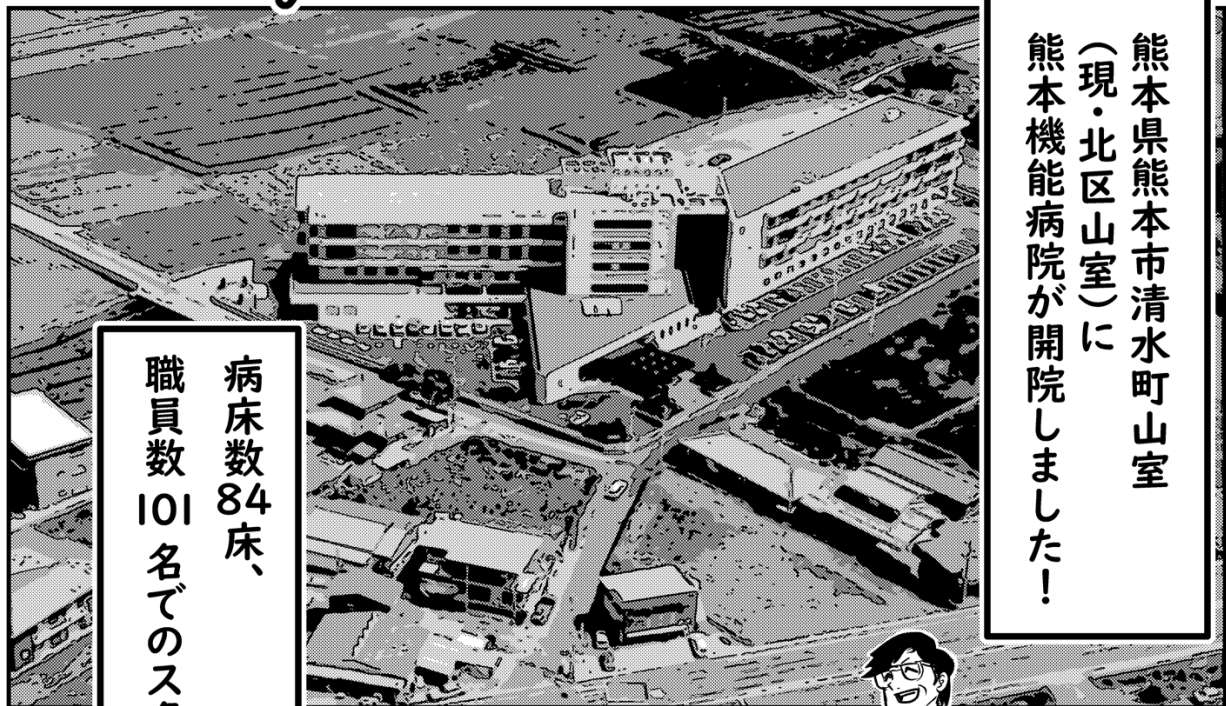




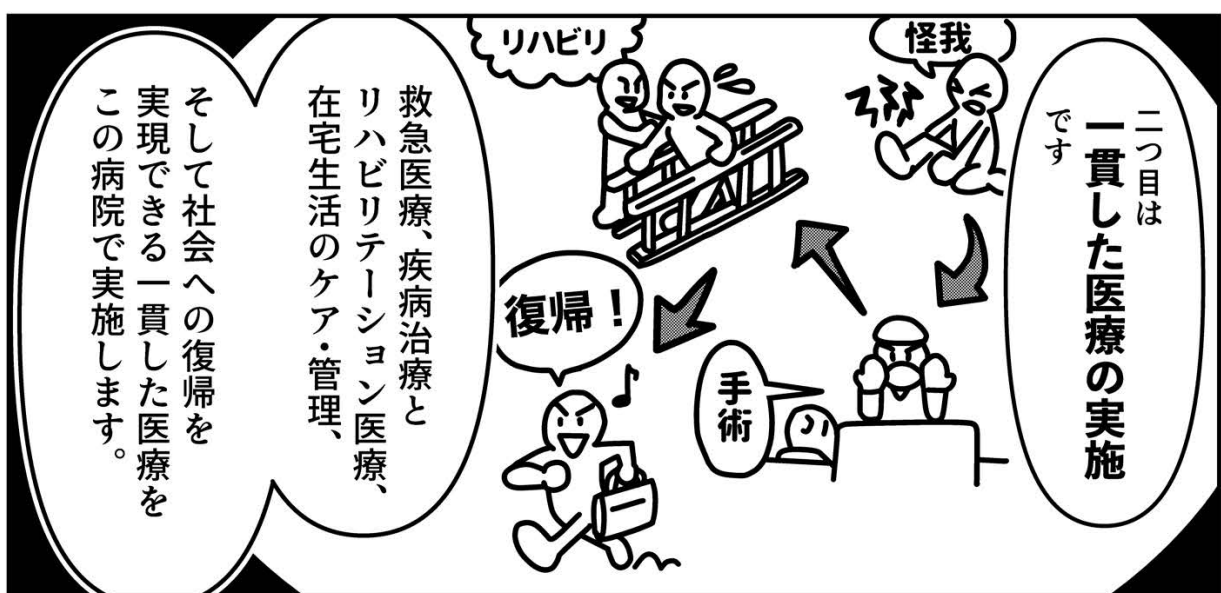
第八章

今までに負けない挑戦を













1988年
開設から7年後—

日本はこれから
高齢化に向かうだろう。

高齢者の治療後にリハビリ
を行う「病院」と「在宅」の
中間となる施設が
重要となってくるはずだ！



そう考えた弘之は
国の施策が動き出すと
ともに建築を開始し、



熊本県第一号の
老人保健施設「清雅苑」
をオープンします。

熊本体力研究所



また、同時に「予防」にも着目し、
フィットネスや検診、研究ができる
「熊本体力研究所」
(現・熊本健康・体力づくりセンター)
を1989年に開設。

一貫した医療を提供する体制
を整え、開設時に掲げた3つの方針
をわずか8年で達成させます。

という嘆願書の声を
熊本大学循環器内科の
泰江弘文教授に伝え—



熊本市北部地域で、
循環器を担う医療機関
が必要になる!!

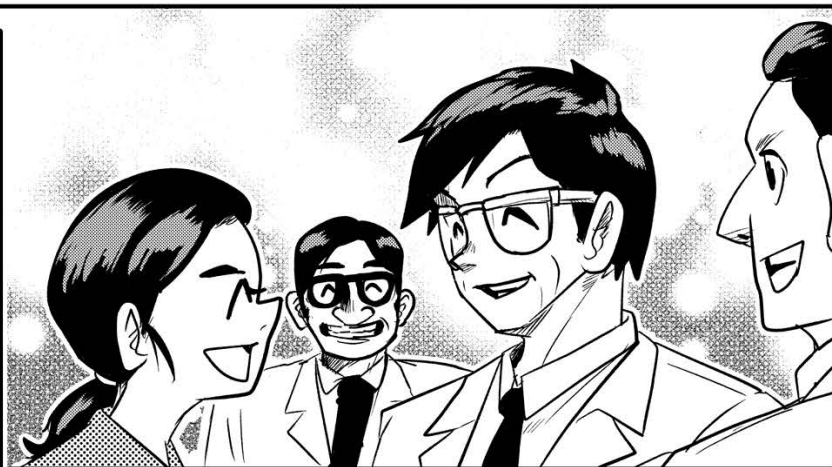


そして、
1997年には—



「循環器センター」
を新たに設置します。

こうして熊本機能病院は
わずか20年で地域の
アイコンとなる大きな
病院として成長を
遂げてきました。



熊本機能病院の理事長として
忙しい毎日を送る中でも、弘之は
決して患者さんの診療を止める
ことはありませんでした。



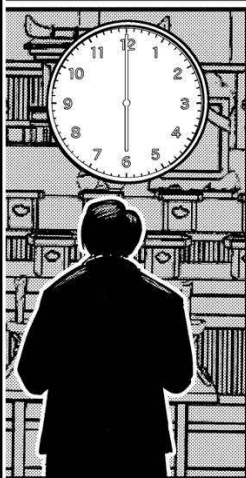
“医師”として直接患者さんと接することを
大切にし、外来では一日100人を越える
診療を行っていました。
患者さんの中には弘之と会うだけで体調が良くなる方もいたとか……!

この生活は弘之が
75歳になるまで続きました。

また、患者さん
だけでなく職員も
大切にしていた
弘之は

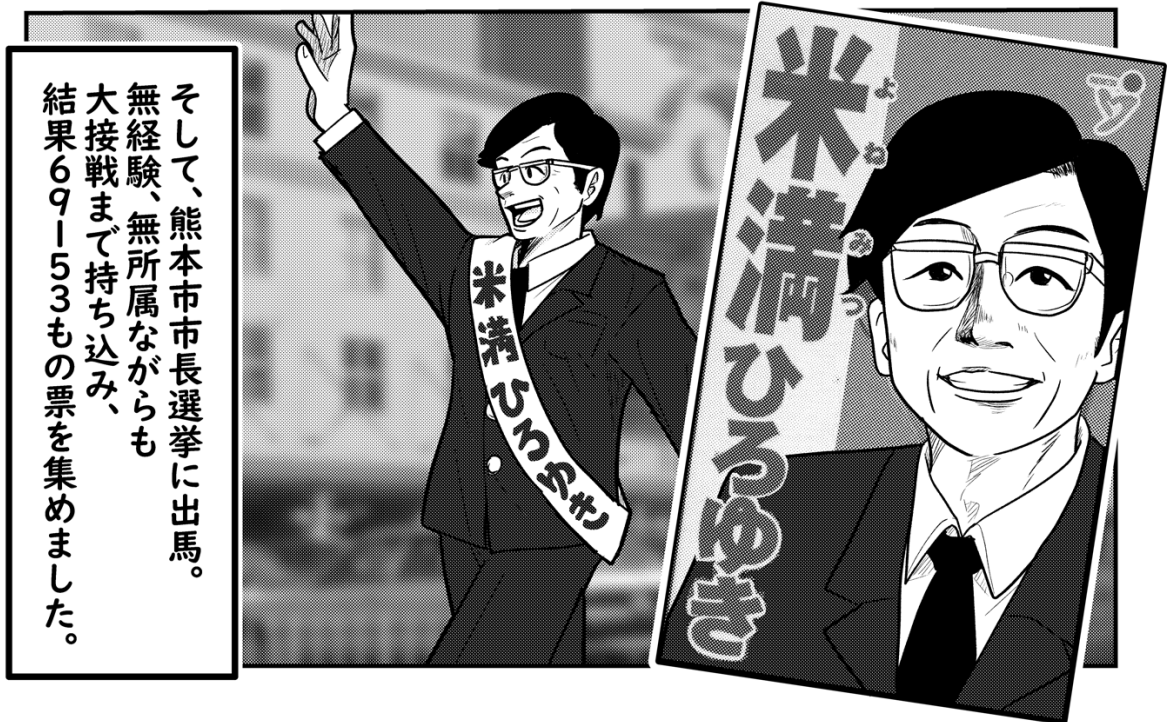


多忙なスケジュールの中でも
職員の冠婚葬祭には
必ず出席していたそうです。

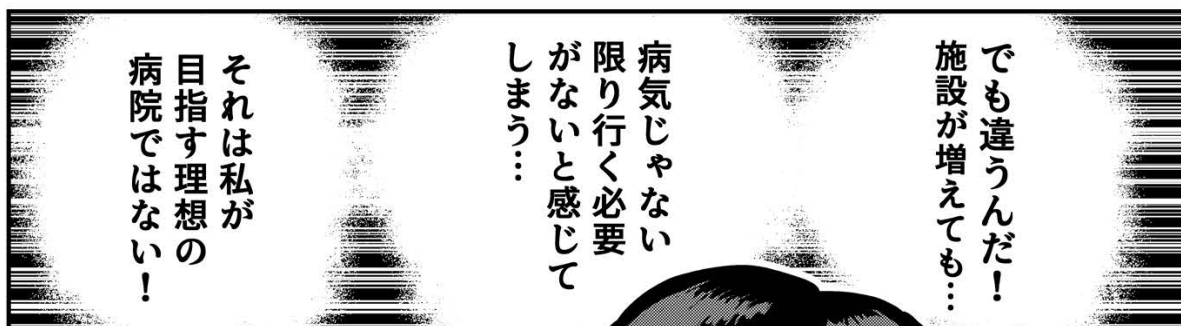


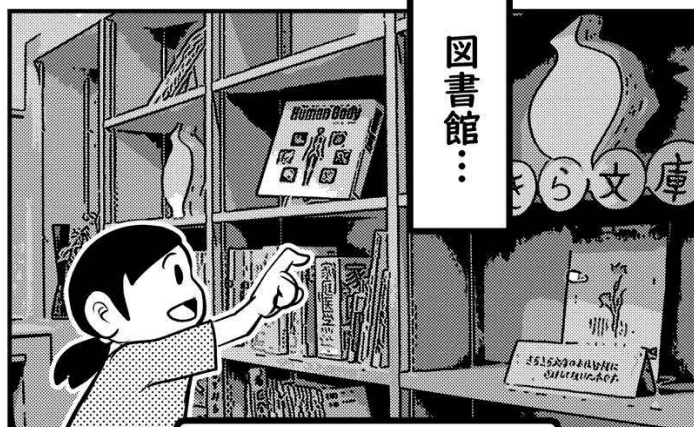


1994年





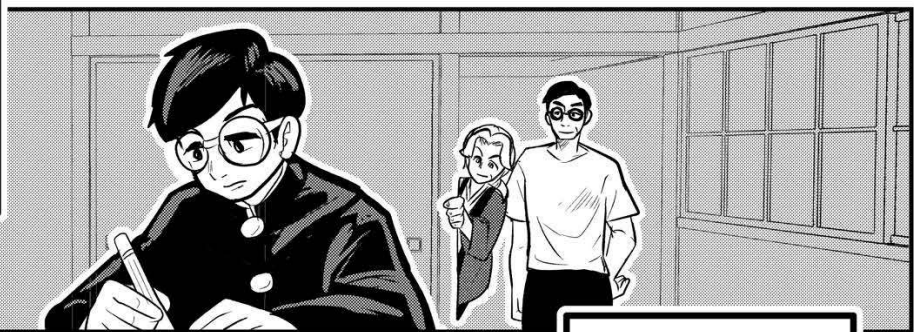
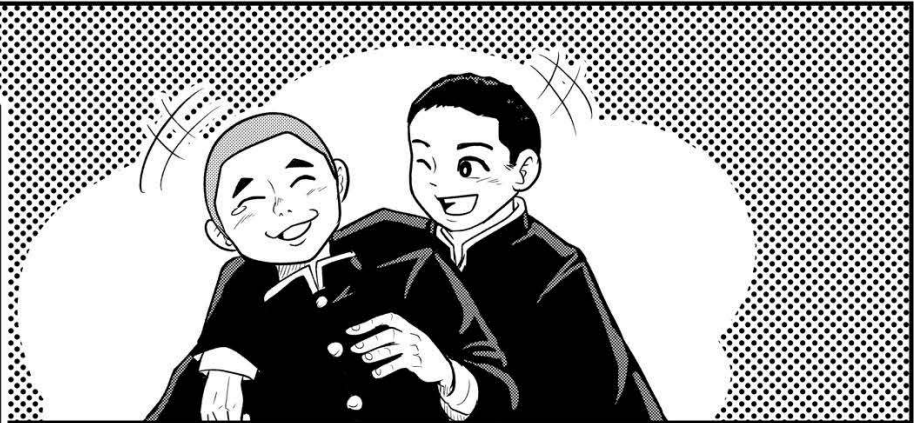






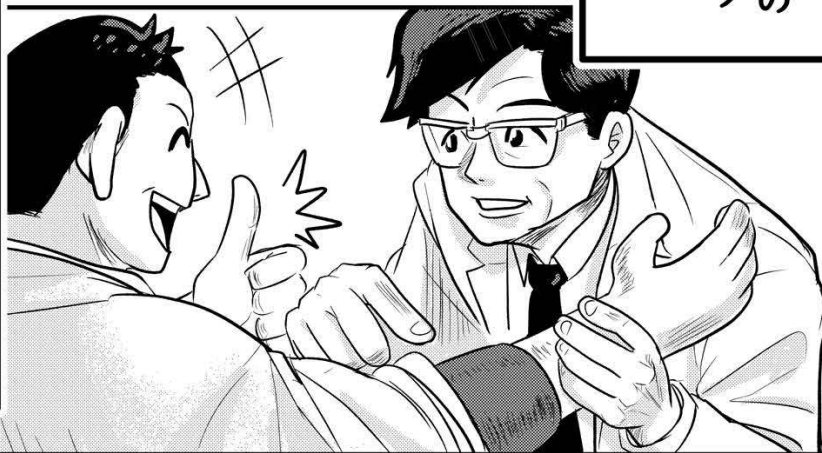


弘之の人生は決して順風満帆
とは言えず、苦勞、努力の
多いものでしたが、



すべて乗り越えることが
できたのは、家族や友人の
応援、先生や医療スタッフ
の方々のサポートそして
患者さんの笑顔…

たくさんの方の支えが原動力
となっていたおかげと言って
間違いありません。



創業から40年を超えてもなお
成長し続ける熊本機能病院

これからも多くの人に支えられながら
今までにない挑戦を続けていきます。

おしまい



米満弘之 主な功績

役職歴

日本医師会介護保険委員会委員
熊本県医師会理事、熊本市医師会理事
日本リハビリテーション病院・施設協会常務理事、副会長、顧問
全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会会長
全国地域リハビリテーション支援センター長連絡協議会会長
全国介護支援専門員連絡協議会副会長
全国老人保健施設協会総務・企画委員会企画部会長
熊本県医療・保健・福祉連携学会企画運営実行委員長
昭和大学医学部形成外科学客員教授
熊本市地方社会福祉審議会委員長

全国学会大会長

昭和63年12月第15回日本マイクロサージャリー学会
平成9年10月第1回全国リハビリテーション医療研究大会
平成10年11月第8回日本車椅子スポーツ研究集会大会
平成14年8月日本福祉のまちづくり学会第5回全国大会
平成18年10月第22回日本義肢装具学会学術大会
平成19年2月回復期リハビリテーション病棟協会第9回研究大会in熊本

表彰

平成15年8月献血運動推進協力厚生大臣表彰
平成15年9月救急医療功労者厚生大臣表彰
平成17年8月介護老人保健施設関係事業の発展向上厚生労働大臣表彰
平成19年5月中国広西名誉公民表彰
平成19年7月日本臨床整形外科学会地域医療功労賞表彰
平成22年9月更生保護法人全国更生保護法人連盟表彰
平成23年1月熊本県更生保護事業功労者法務大臣感謝状表彰
平成26年6月熊本日日新聞社熊日賞表彰
平成30年5月旭日双光章受章



創立40周年を迎え、記念の一環としてこの「熊本機能病院物語」を制作いたしました。
40年の歴史を振り返り、そのご苦勞に感謝すると共に今後の発展につなげていく所存です。
当法人の足跡を皆様にお伝えすることができましたこと、大変幸甚に存じます。
また、編集にあたり諸先生方の指導や助言をいただき心よりお礼申し上げます。

社会医療法人寿量会 理事長 米満弘一郎



熊本機能病院
KUMAMOTO KINOH HOSPITAL

監修：米満 弘一郎
漫画：ノゾエタカフミ



作者

ノゾエ タカフミ
NOZOETAKAFUMI

熊本県を中心に活動する
漫画家・イラストレーター。

魅力ある歴史を伝える「漫画」や
親しみやすい「キャラクター」
など：幅広い分野で制作活動を行
っております。

子どもが2024年1月に
生まれ、パパとしても現在
活躍中。



【ノゾエ タカフミwebサイト】

<https://www.nozotown.com/>